

平成 3 1 年 度
(2 0 1 9 年 度)

琉球大学大学院理工学研究科
博士前期課程(工学系)

学 生 募 集 要 項



平成 3 0 年 5 月

国立大学法人 琉球大学大学院理工学研究科

<http://www.tec.u-ryukyu.ac.jp>

琉球大学大学院理工学研究科博士前期課程各専攻の

人材の養成及び教育・研究上の目的

(工学系)

専攻	人材の養成及び教育・研究上の目的
機械システム工学専攻	機械工学及びその関連領域の教育・研究を通して、高い専門的研究能力と豊かな学識を持つ高度専門職業人又は研究者となる人材の養成を目的とする。
環境建設工学専攻	自然と調和のとれた安全で豊かな社会を建設するための土木工学・建築学を中心とした教育・研究を通して、高度な専門知識を有する人材の養成を目的とする。
電気電子工学専攻	社会的ニーズに対応した電気電子工学分野に関する最先端の教育・研究を通して、高度な専門知識と技術を兼ね備えた創造性豊かな人材の養成を目的とする。
情報工学専攻	情報工学の理論及び応用の教育・研究を通して、学術の深化と科学技術の発展に寄与するとともに、高度な専門知識と技術を兼ね備え社会に貢献できる人材の養成を目的とする。

平成31年度 理工学研究科博士前期課程(工学系)入学者選抜日程の概要

■推薦特別選抜

対象専攻	出願期間	試験日	合格発表	入学手続
環境建設工学専攻	平成30年6月15日(金) ～6月21日(木)	7月4日(水) ※予備日7月10日(火) ※入学者選抜方法については、8ページを参照してください。	7月18日(水) 13時	平成31年 3月下旬
情報工学専攻	※出願手続きについては、6～8ページを参照してください。	個別試験は実施しない ※入学者選抜方法については、8ページを参照してください。		

■一般選抜

〈口頭試問型〉

対象専攻	事前審査	出願期間	受験資格審査通知	試験日	合格発表	入学手続
機械システム工学専攻	平成30年6月7日(木) ～6月11日(月)	6月15日(金) ～6月21日(木)	6月29日(金) 13時	7月4日(水) ※予備日7月10日(火) ※入学者選抜方法については、16～17ページを参照してください。	7月18日(水) 13時	平成31年 3月下旬
電気電子工学専攻	※出願資格審査が必要な方のみ。手続きに関しては、13～14ページを参照してください。	※出願手続きに関しては、14～16ページを参照してください。				

〈筆記型〉

対象専攻	事前審査	出願期間	試験日	合格発表	入学手続	
第1期	機械システム工学専攻	平成30年7月4日(水) ～7月6日(金)	7月20日(金) ～7月26日(木)	8月9日(木)・10日(金) ※予備日8月16日(木)・8月17日(金)	9月3日(月) 13時	平成31年 3月下旬
	環境建設工学専攻					
	電気電子工学専攻					
	情報工学専攻					
第2期	機械システム工学専攻	平成30年12月10日(月) ～12月12日(水)	平成31年1月7日(月) ～1月11日(金)	平成31年1月30日(水)	2月14日(木) 13時	平成31年 3月下旬
	環境建設工学専攻					
	電気電子工学専攻					
	情報工学専攻					

■社会人特別選抜、社会人特別選抜(現職高校教員)、外国人留学生特別選抜

対象専攻	事前審査	出願期間	試験日	合格発表	入学手続	
第1期	機械システム工学専攻	平成30年7月4日(水) ～7月6日(金)	7月20日(金) ～7月26日(木)	8月10日(金) ※予備日8月17日(金) (外国人留学生特別選抜の機械システム工学専攻のみ、8月9日(木)) ※予備日8月16日(木)、8月17日(金)	9月3日(月) 13時	平成31年 3月下旬
	環境建設工学専攻					
	電気電子工学専攻					
	情報工学専攻					
第2期	機械システム工学専攻	平成30年12月10日(月) ～12月12日(水)	平成31年1月7日(月) ～1月11日(金)	平成31年1月30日(水)	2月14日(木) 13時	平成31年 3月下旬
	環境建設工学専攻					
	電気電子工学専攻					
	情報工学専攻					

目 次

平成31年度 理工学研究科博士前期課程(工学系)入学者選抜日程の概要	1
入学者受入方針(アドミッションポリシー)(工学系)	4
〈推薦特別選抜〉	5
1. 募集専攻, 分野及び募集人員	6
2. 出願資格	6
3. 出願期間	6
4. 出願手続	6
5. 東日本大震災及び熊本地震により被災した平成31年度琉球大学入学者選抜試験志願者の 検定料に関する特例措置	8
6. 出願書類の提出先	8
7. 入学者選抜方法	8
8. 配点	9
9. 注意事項	9
10. 一般選抜への出願	9
11. 合格者発表	9
12. 入学手続	9
13. 長期履修制度	9
14. 個人情報の取扱い	10
〈一般選抜〉	11
I. 口頭試問型	12
1. 募集専攻, 分野及び募集人員	12
2. 出願資格	12
3. 出願期間	14
4. 出願手続	14
5. 東日本大震災及び熊本地震により被災した平成31年度琉球大学入学者選抜試験志願者の 検定料に関する特例措置	16
6. 出願書類の提出先	16
7. 入学者選抜方法	16
8. 配点	17
9. 注意事項	17
10. 合格者発表	17
11. 入学手続	17
12. 長期履修制度	18
13. 個人情報の取扱い	18
II. 筆記型	19
1. 募集専攻, 分野及び募集人員	19
2. 出願資格	19
3. 出願期間	21
4. 出願手続	21
5. 出願書類の提出先	22

6. 入学者選抜方法	2 2
7. 配点	2 4
8. 注意事項	2 4
9. 合格者発表	2 5
10. 入学手続	2 5
11. 長期履修制度	2 5
12. 個人情報の取扱い	2 5

〈特別選抜〉

I. 社会人特別選抜, 社会人特別選抜(現職高校教員)

1. 募集専攻, 分野及び募集人員	2 8
2. 出願資格	2 8
3. 出願期間	2 9
4. 出願手続	3 0
5. 出願書類の提出先	3 0
6. 入学者選抜方法	3 1
7. 配点	3 2
8. 注意事項	3 2
9. 合格者発表	3 2
10. 入学手続	3 2
11. 長期履修制度	3 3
12. 個人情報の取扱い	3 3
13. 社会人特別選抜	3 3

II. 外国人留学生特別選抜

1. 募集専攻, 分野及び募集人員	3 5
2. 出願資格	3 5
3. 出願期間	3 6
4. 出願手続	3 6
5. 出願書類の提出先	3 6
6. 入学者選抜方法	3 7
7. 配点	3 8
8. 注意事項	3 8
9. 合格者発表	3 8
10. 入学手続	3 9
11. 長期履修制度	3 9
12. 個人情報の取扱い	3 9

入試案内添付資料

専攻別試験科目の主な出題範囲	4 0
琉球大学大学院理工学研究科概要	4 1
琉球大学試験会場案内図	4 2
試験場案内図	4 3
学生寮(千原寮)への入寮申込み, アパート・マンション等の紹介	4 4

入学志願書等

琉球大学大学院理工学研究科（博士前期課程）

（工学系）

入学者受入方針（アドミッションポリシー）

機械システム工学専攻

機械工学およびその関連領域において、十分な基礎学力を有し、高度な専門知識や技術を修得することによって、広く国内外で活躍する意欲のある人材を求めます。

環境建設工学専攻

自然と調和し安全で快適な社会基盤施設、建築物、それらの集合した都市について、高度な技術の修得と研究に意欲を持って取り組む次のような人を求めます。

- （1）安全で豊かな社会の建設に関わる高度な技術の修得と研究に取り組もうとする人
- （2）人間社会と環境の関係についての高度な技術の修得と研究に取り組もうとする人
- （3）グローバルな視点に立った専門家として社会貢献することに価値を見出す人

電気電子工学専攻

電気電子工学に関する幅広い基礎知識を有し、さらに高度な専門知識を修得して将来、技術者・研究者として社会に貢献したいという意欲ある学生を求めます。

情報工学専攻

情報工学、数学および英語の基礎学力を有するとともに、以下の項目に対して強い向学心を持っている人を求めます。

- （1）情報工学分野の深い知識と応用力
- （2）広い視野と柔軟性を持ち関連分野あるいは異分野を理解する能力
- （3）情報工学分野の課題設定を行い解決する能力
- （4）コミュニケーション能力、リーダーシップ能力

理工学研究科 博士前期課程 (工学系)

■推薦特別選抜 (環境建設工学専攻, 情報工学専攻)

出願書類請求, 問合せ先

琉球大学工学部学務係

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

電話 098-895-8583 (直通)

FAX 098-895-8590

募集要項の郵送希望者は返信用封筒(角型2号 33 cm×24 cm)に250円切手(速達希望者は530円切手)を貼付し,宛先(郵便番号,住所,氏名)を明記の上同封し,上記へ請求してください。

推薦特別選抜

1. 募集専攻, 分野及び募集人員

専攻	分野	募集人員
環境建設工学専攻	環境計画学, 設計工学, 環境防災工学	12名
情報工学専攻	システム情報工学, 知能情報工学	6名

(注) ただし, 募集人員は環境建設工学専攻定員(24名), 情報工学専攻(18名)の内数とし, 合格者が募集人員に満たない場合は, その欠員分を一般選抜の募集人員に加えます。

2. 出願資格

次の(1)から(2)に該当し, (3)又は(4)の要件を満たす者とします。

- (1) 平成31年3月31日までに大学を卒業見込みの者, 又は高等専門学校¹の修業年限2年の専攻科に在籍し, 平成31年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (2) 合格した場合に入学を確約できる者
- (3) 環境建設工学専攻においては, 学業成績及び人物ともに優れ, 在籍している大学・学部の学科長に相当する教員あるいは指導教員, 又は高等専門学校長あるいはその専攻科の長から推薦された者
- (4) 情報工学専攻においては, 大学院入学資格を有し, 所属学科等において学業成績が特に優秀と認められ, 在籍している大学・学部の学科長に相当する教員あるいは指導教員, 又は高等専門学校長あるいはその専攻科の長から推薦された者。席次が所属学科等の入学定員×0.1の小数点以下を切り上げた数以内の学生。(たとえば, 定員60名の場合は6位以内, 定員12名の場合は2位以内)すべての志願者は出願書類として所属学科等の席次を記入した推薦書を提出してください。

※推薦特別選抜を志願する者は, 事前に, 必ず志望専攻の予定指導教員と直接相談してから出願してください。

3. 出願期間

平成30年6月15日(金)～6月21日(木)までとします。

- (1) 受付時間は9:00～17:15(但し, 12:00～13:00を除く)(但し, 土日を除く)
- (2) 郵送の場合は必ず書留速達とし, 上記出願期間内に必着のこと。なお, 出願期間内に到着しない場合は, 受理しないので郵便事情を考慮して十分余裕を持って発送してください。
- (3) 受理された出願書類は, いかなる理由があっても返還しません。

4. 出願手続

出願者は, 下記の書類を添えて, 琉球大学工学部学務係へ提出してください。なお, 郵送の場合は, 封筒に「大学院入学志願書(博士前期課程)」と朱書してください。

提出書類等	摘要
①入学願書, 受験票(環境建設工学専攻のみ)	本学所定の用紙を用いてください。 情報工学専攻志願者については, 個別試験を実施しないので, 出願期間終了後, 受験番号を付与した入学願書(写)を志願者へ交付します。
②卒業見込証明書	出身大学長等(学部長等)が作成したもの。
③成績証明書	出身大学長等(学部長等)が作成したもの。
④推薦書	本学所定の用紙。出願資格(3)又は(4)に記載された推薦者が作成し厳封したもの。

⑤写真	出願前3ヶ月以内に撮影した上半身脱帽の正面向きとし、受験票と入学願書に貼付してください。(情報工学専攻志願者は入学願書のみ貼付。)
⑥返信用封筒(受験票送付用)	出願書類を郵送する者は、長3封筒(縦23cm×横12cm)に400円切手(速達)を貼付し、志願者の郵便番号、住所、氏名を明記してください。
⑦志願者整理票	本学所定の志願者整理票に記入してください。
⑧入学後の研究計画(様式任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境建設工学専攻においては、入学後の希望研究課題と研究推進方法等について志願理由も含めてA4用紙1ページに記載してください。用紙の頭部に氏名(ふりがな)、生年月日を明記してください。 ・情報工学専攻においては、入学後の希望研究課題と研究推進方法等について志願理由も含めてA4用紙2枚以内に記載し、志望専攻の予定指導教員と協議の上作成してください。用紙の頭部に氏名(ふりがな)、生年月日および協議した予定指導教員名を明記してください。
⑨卒業研究概要(環境建設工学専攻のみ)	卒業研究の内容またはこれに相当する学習内容等をA4用紙1ページ程度にまとめたもの。用紙の頭部に氏名(ふりがな)、生年月日を明記してください。
⑩入学確約書	本学所定の入学確約書に記入してください。
⑪検定料納付証明書(大学用)	検定料 30,000 円(別添の「検定料振込書」を使用してください。)
⑫外国語(英語)試験スコア票(情報工学専攻のみ)	TOEFL(R)-iBT, TOEFL(R)-ITP, TOEIC(R), TOEIC(R)-IPのいずれかのスコア票を提出してください。

⑪の検定料納付について

検定料納付証明書(大学用) 検定料 30,000 円(別添の「検定料振込書」を使用してください。)

検定料振込期間:平成30年6月13日(水)～6月21日(木)

※検定料を最終日に振込む場合は、16時までには振込んでください。その後、当日17時15分(郵送は17時15分必着)までに出願書類一式を提出しなければならないので注意してください。

※特例措置対象者(8ページ「5. 特例措置」を参照)は、検定料を振込まず申請手続を行ってください。

1) 振込方法

ア. 検定料振込書の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。

《依頼日、入学志願者氏名(フリガナ)、住所、電話番号、振込先(枠内に○印)》

イ. 必ず金融機関(銀行等)の窓口で振込み、ATM(現金自動預払機)は使用しないでください。

ウ. 振込手数料については、志願者本人負担となります。

エ. 金融機関窓口から「検定料納付証明書(大学用)」を受け取る際は、取扱金融機関収納印を確認してください。

オ. 「検定料納付証明書(大学用)」は**出願書類に同封して提出**してください。

※この募集要項添付の「**検定料振込書**」が使用できない場合は、各金融機関備付の**振込依頼書**で振込んでください。

振込依頼人氏名は、先に募集区分(工学系は451)、次に志願者本人氏名としてください。

例 451 タ イカ ヲ ク タロウ

振込先口座、金額及び募集区分は「検定料振込書」で確認してください。

受領書の写しを「検定料納付証明書(大学用)」の代わりに提出してください。

2) 留意事項

ア. 検定料が振込まれていない場合、「検定料納付証明書(大学用)」が出願書類に同封されていない場合、あるいは「検定料納付証明書(大学用)」に取扱金融機関収納印がない場合は、出願書類を受理しません。

イ. 既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

i. 検定料を振込んだものの、出願しなかった場合(出願書類を提出しないまま出願期間が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合)

ii. 誤って検定料を二重に振込んだ場合

iii. 特例措置対象者(8ページ「5. 特例措置」を参照)が検定料を振込んだ場合

※上記iiiに該当する場合は、返還手続（8ページ「5」の(3)申請の方法を参照）を行ってください。
 ※上記 i・ii に該当する場合は、本募集要項添付の「返還金払戻請求書」に必要事項を記入し、払戻の理由を選択、氏名欄へ押印のうえ、「検定料納付証明書（大学用）」を同封して下記へ送付してください（封筒には、「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください）。

返還は銀行振込で行います。保護者名義口座の場合は必ず続柄も明記してください。ゆうちょ銀行口座を指定する場合は、振込用の店名・店番・預金種別・口座番号を明記してください。返還には請求書受理後2～3ヶ月程度かかります。

送付期限：平成31年3月29日(金)

送付先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

琉球大学財務部経理課収入・支出係 電話 098-895-8058

5. 東日本大震災及び熊本地震により被災した平成31年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置

被災者の経済的負担を軽減することにより、受験の機会を確保するため、以下のとおり特例措置を実施します。

(1) 措置内容

検定料の免除：30,000円

(2) 免除の対象者及び必要書類

対象者	必要書類
①東日本大震災及び熊本地震における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者	
ア 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	り災証明書
イ 主たる家計支持者が死亡、又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
② 居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

(3) 申請の方法

本学所定の様式（検定料免除申請書）に、り災証明書等を添えて、出願書類とともに同封のうえ提出してください。なお、申請する場合は、「検定料」を振込まないでください。すでに納付した検定料の返還を希望する場合は、本学所定の様式（返還金払戻請求書）に、り災証明書等を添えて工学部学務係へ申請してください。申請後、検定料を返還します。返還金払戻請求書の提出期限は、平成31年3月29日(金)までとします。

6. 出願書類の提出先

提出先 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

国立大学法人琉球大学 工学部学務係 電話 098-895-8583（直通）

7. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、試験の成績及び出願書類を総合して判定します。

〈試験日時・試験内容・試験場所〉

専攻	期日	試験科目	試験時間	試験室
環境建設工学専攻	7月4日(水)	口述試験(専門科目、卒業研究、入学後の研究計画、志望動機などについての試問)	10:00～	工学部 1号館3階314室
情報工学専攻	出願書類を総合的に評価し、判定するため、個別試験は実施しません。			

※暴風警報の発令等で上記期日に試験が実施できない場合は、7月10日(火)に試験を行います。

8. 配点

専攻	配点	
環境建設工学専攻	口述試験 (専門科目, 卒業研究, 入学後の研究計画, 志望動機等) (合・否)	学業成績
		100
情報工学専攻	調査書	英語 (TOEFL または TOEIC)
	400	100

9. 注意事項

- (1) 環境建設工学専攻受験者は、試験当日 7 月 4 日 (水) の午前 9 時 30 分に受験生控室 (工学部 1 号館 3 階 308 室) へ集合してください。
- (2) 集合時刻から 30 分を超えて遅刻した者は、受験することができません。
- (3) 出願後の書類記載事項の変更は認めません。

10. 一般選抜への出願

推薦選抜で合格しなかった者は、一般選抜筆記型に出願することができます。一般選抜募集要項に従って出願してください。なお、一般選抜筆記型に出願する際には、別途検定料 30,000 円の納付が必要です。

11. 合格者発表

平成 30 年 7 月 18 日 (水) 13 時に工学部玄関前と琉球大学工学部 Web サイト(<http://www.tec.u-ryukyu.ac.jp/>)に掲載します。また、合格者へは郵送にて通知します。

12. 入学手続

入学手続等の詳細については、合格者に対して「入学手続案内」を平成 31 年 3 月上旬に送付します。

(1) 入学手続期間

入学手続期間等については、平成 31 年 3 月下旬頃を予定しています。

(2) 入学料及び授業料

入学料は銀行振込となります。詳細は「入学手続案内」でお知らせします。

①入学料 282,000 円 (予定)

②授業料 (前期分) 267,900 円 (年額 535,800 円) (予定)

(注) ①上記については、予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行なわれた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

②授業料の納入については、本人の申し出により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができます。

③入学料の免除又は徴収猶予あるいは授業料の免除を希望する者 (対象者については、合格者に送付する「入学手続案内」で詳しく説明します。) は、所定の免除申請手続を行なうことにより、免除又は徴収猶予の可否が決定されるまでの間、入学料又は授業料の納付が猶予されます。

(3) 入学手続場所

琉球大学工学部事務室 (工学部 1 号館 1 階 101)

13. 長期履修制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限で修了することが困難である学生を対象に、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修させて学位の取得ができるようにする制度です。申請に基づき、研究科が審査し、最長 4 年間の修業年限で在学し、計画的に課程を修了することになります。

なお、長期履修学生として認められた期間の授業料は、標準修業年限の2年間(4学期)の総額を在学学期で除した額を分割して支払うことになります。

本制度を希望する学生は、あらかじめ事前に指導教員と長期履修の必要性、履修計画を相談し、承諾を得て入学手続期間内に申請してください。

14. 個人情報の取扱い

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 合格者の氏名等を入学手続に関わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の氏名等を入学後の学籍管理など、修学に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者および学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を入学料免除・授業料免除および奨学生選考など、修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 個人が特定できないように統計処理したデータを入学者選抜に関する調査・研究などに利用します。

※本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者の同意を得ることなく他の目的で利用、または第三者に提供することはありません。

理工学研究科 博士前期課程 (工学系)

■一般選抜

- ・口頭試問型 (機械システム工学専攻, 電気電子工学専攻)
- ・筆記型 (機械システム工学専攻, 環境建設工学専攻, 電気電子工学専攻, 情報工学専攻)

出願書類請求, 問合せ先

琉球大学工学部学務係

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

電話 098-895-8583 (直通)

FAX 098-895-8590

募集要項の郵送希望者は返信用封筒(角型2号 33cm×24cm)に250円切手(速達希望者は530円切手)を貼付し,宛先(郵便番号,住所,氏名)を明記の上同封し,上記へ請求してください。

I. 一般選抜（口頭試問型）

1. 専攻、分野及び募集人員

「機械システム工学専攻」および「電気電子工学専攻」では、広く全国に優秀な学生の入学を促す目的で、学業の優秀な学生に対して筆記試験を免除し口頭試問による選抜を行います。

専攻	分野	募集人員
機械システム工学専攻	材料システム工学，熱流体工学，数理機械工学	若干名
電気電子工学専攻	電磁エネルギー工学，電子物性工学，電子システム工学	若干名

注1. 募集人員若干名は、入学定員（機械システム工学専攻第一期募集人員 25 名，電気電子工学専攻第一期募集人員 22 名）に含まれます。

注2. 一般選抜においては、機械システム工学専攻及び電気電子工学専攻で、口頭試問型と筆記型があり、それぞれ出願資格および出願書類が異なるので注意してください。

2. 出願資格

次の①～⑩のいずれかに該当し、⑪又は⑫の要件を満たす者とします。

- ①大学を卒業した者又は平成 31 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- ②学校教育法第 104 条第 4 項により学士の学位を授与された者（大学評価・学位授与機構から学位を授与された者）又は平成 31 年 3 月 31 日までに学士の学位を授与される見込みの者
- ③外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限り、）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑥専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限ります。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑦文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号参照）
- ⑧大学に平成 31 年 3 月 31 日までに 3 年以上在学見込みの者、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者で、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科が認めた者
- ⑨学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- ⑩本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22 歳に達したもの又は平成 31 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者
- ⑪「機械システム工学専攻」においては、上記出願資格①～⑩のいずれかに該当し、GPA2.50 以上の学生。なお、本学他学科・他学部および他大学等の卒業予定者は出願書類として 3 年次までの成績表（成績原簿等 GPA の表記があるもの）を提出してください（14 ページ 4.（1）③参照）。

- ⑫「電気電子工学専攻」においては、平成31年3月までに、大学を卒業見込みの者又は高等専門学校専攻科を修了見込みの者で、かつ大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者で、大学の場合は大学での修得科目、高等専門学校専攻科の場合は高等専門学校4、5年次および専攻科修得科目のうち、80点以上に相当する評価が科目数の比率で75%以上の者。但し、認定、合否等で評価される科目については算定に含みません。

なお、口頭試問型への出願者で受験有資格者とならなかった者または合格しなかった者のうち、筆記型と併願している者は、引き続き筆記型が受験可能です。その場合は、入学願書の再提出および検定料の重複納入の必要はありません。

(事前審査)

口頭試問型において出願資格⑧又は⑩により出願する者は、出願書類提出前に以下の必要書類を提出し、出願資格の事前審査を受けなければなりません。

書類提出期間	平成30年6月7日(木)～平成30年6月11日(月)
書類提出場所	工学部学務係

※出願資格審査の結果は、平成30年6月14日(木)付けで本人宛に通知します。

○出願資格⑧の事前審査に係る必要書類

- 1 事前審査申請書
- 2 成績証明書(最新のもの)
- 3 在学証明書
- 4 履修手引き(授業内容一覧および卒業要件が記載されたもの)

○出願資格⑩の出願資格

⑩の出願者は次の(イ)、(ロ)の条件を満たす者とします。

(イ)在学期間について

平成31年3月末において、大学在学期間が3年間に達すること(休学期間は、在学期間を含めません)。又は、外国において15年の課程を修了していること。

(ロ)学業成績について

出願時点において、修得する必要がある科目の全てを修得し、かつ専攻ごとに定める条件(別表参照)を満たすこと。なお、入学試験に合格した後、平成31年3月末までに、次の①、②、③を満たさないと入学を許可しません。

①3年次までに修得する必要がある必修科目の全てを修得すること。

②修得した選択科目を含め卒業要件単位数の90%以上の単位を修得すること。

③修得単位中の点数評価80点に相当する単位が専攻ごとに定める割合(下表参照)に達すること。

専攻	修得単位中の点数評価80点以上に相当する単位の割合	
	出願時	平成31年3月末
機械システム工学専攻	95%以上	95%以上
環境建設工学専攻	95%以上	95%以上
電気電子工学専攻	95%以上	95%以上
情報工学専攻	95%以上	95%以上

〈注意事項〉

※一般選抜に出願予定の者で、現在有職であるか、もしくは入学後有職となることが予定されている者は、必ず事前に志望専攻の予定指導教員と面談を行い、修学条件等について十分確認のうえ出願してください。

※⑧の出願資格により入学した場合、当人の学部学生としての学籍上の身分は退学となります。したがって、大学の学部を卒業していることを要件と定められている種々の国家試験等の資格試験は受験できなくなるので注意してください。

○出願資格⑩の事前審査に係る必要書類

- 1 事前審査申請書
- 2 最終出身学校卒業・修了証明書
- 3 最終出身学校成績証明書
- 4 研究・教育歴証明書(研究・教育内容要旨を含む)

なお、参考資料として、研究業績を説明する資料や特許・実用新案取得書類、技能検定認定証明書等を添付することもできます。

※「外国において15年の課程を修了した者で、日本国内又は国外の大学若しくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として相当期間（おおむね1年以上とする）研究に従事しており、平成31年3月31日までに22歳に達するもの」を含みます。

3. 出願期間

(口頭試問型) : 平成30年6月15日(金)～6月21日(木)まで

- ①受付時間は、9:00～17:15(但し、12:00～13:00を除く)(但し、土日を除く)
- ②郵送の場合は必ず書留速達とし、上記出願期間内必着のこと。なお、出願期間内に到着しない場合は、受理しないので郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。
- ③受理された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。

4. 出願手続

出願者は、下記の書類を添えて、琉球大学工学部学務係へ提出すること。なお、郵送の場合は、封筒に「大学院入学志願書(博士前期課程)」と朱書してください。

(1)一般選抜口頭試問型(機械システム工学専攻, 電気電子工学専攻のみ)

一般選抜の口頭試問型を受ける者は、6月21日(木)までに、次の書類を一括取り揃え提出してください。

出願書類	注意事項
①入学願書, 受験票	本学所定の用紙を用いること。
②卒業証明書又は卒業見込証明書	出身大学長等(学部長等)が作成したもの。
③成績証明書	出身大学長等(学部長等)が作成したもの。 「 機械システム工学専攻 」においては、本学他学科・他学部および他大学等(大学, 高等専門学校専攻科)の卒業予定者は上記①, ②の書類に加えて3年次までの成績表(成績原簿等GPAの表記があるもの)も提出すること。
④学位を取得していることを証明する書類	2. 出願資格の⑦(文部科学大臣の指定した者)の場合, 提出すること。
⑤写真2葉	出願前3ヶ月以内に撮影した上半身脱帽の正面向きとし, 受験票と入学願書に貼付すること。
⑥受験承諾書	現在他の大学院に在学中の者又は在職中の者は, 本学所定の用紙を用い, その長の受験承諾書を提出すること。
⑦検定料納付証明書(大学用)	検定料30,000円(別添の「検定料振込書」を使用すること)
⑧返信用封筒(受験票送付用)	出願書類を郵送する者は, 長3封筒(縦23cm×横12cm)に400円切手を貼付し志願者の郵便番号, 住所, 氏名を明記のうえ提出すること。
⑨志願者整理票	本学所定の志願者整理票に記入のうえ提出すること。

⑩入学後の希望研究課題と研究推進方法等について	「 機械システム工学専攻 」へ出願する者は、卒業研究、入学後の研究計画、志望動機についてA4版用紙1ページに記載したもの。(用紙の頭部に「 口頭試問型選抜希望 」と朱記し、氏名(ふりがな)・生年月日を明記すること)を提出すること。
⑪学士の学位申請予定証明	「 電気電子工学専攻 」においては、高等専門学校専攻科からの志願者については、学士の学位申請予定証明(出身学校所定のもの)も提出すること。
⑫外国語(英語)試験スコア票	「 口頭試問型 」で出願する者は、外国語試験の代わりとして、TOEFL(R)-iBT, TOEFL(R)-ITP, TOEIC(R), TOEIC(R)-IPのいずれかのスコア票を提出すること。なお、スコア票が試験日の前日までに工学部学務係へ提出予定の場合は、仮にて受け付けます。

- (a) 各専攻にて受験資格に関する書類審査を行い、審査の結果は、6月29日(金)までに本人に通知します。
- (b) **口頭試問型の志願者で受験有資格者とならなかった者または合格しなかった者のうち、筆記型と併願している者は、引き続き筆記型を受験可能です。その場合、入学願書の再提出および検定料の重複納入の必要はありません。**

⑦の検定料納付について

検定料納付証明書(大学用) 検定料 30,000 円(別添の「検定料振込書」を使用してください。)

検定料振込期間

口 頭 試 問 型 :平成30年 6月13日(水)~6月21日(木)

※検定料を最終日に振込む場合は、16時までに振込んでください。その後、当日17時15分(郵送は17時15分必着)までに**出願書類一式**を提出しなければならないので注意してください。

※特例措置対象者(16ページ「5. 特例措置」を参照)は、検定料を振込まず申請手続きを行ってください。

1) 振込方法

ア. 検定料振込書の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。

《依頼日, 入学志願者氏名(フリガナ), 住所, 電話番号, 振込先(枠内に○印)》

イ. 必ず金融機関(銀行等)の窓口で振込み、**ATM**(現金自動預払機)は使用しないでください。

ウ. 振込手数料については、志願者本人負担となります。

エ. 金融機関窓口から「**検定料納付証明書(大学用)**」を受け取る際は、取扱金融機関収納印を確認してください。

オ. 「**検定料納付証明書(大学用)**」は**出願書類に同封して提出**してください。

※この募集要項添付の「検定料振込書」が使用できない場合は、各金融機関備付の振込依頼書で振込んでください。

振込依頼人氏名は、先に募集区分(工学系は451), 次に志願者本人氏名としてください。

例 451 タ イカ ク タロウ

振込先口座, 金額及び募集区分は「**検定料振込書**」で確認してください。

受領書の写しを「検定料納付証明書(大学用)」の代わりに提出してください。

2) 留意事項

ア. 検定料が振込まれていない場合、「**検定料納付証明書(大学用)**」が**出願書類に同封されていない場合**, 「**検定料納付証明書(大学用)**」に**取扱金融機関収納印がない場合**は、**出願書類を受理しません。**

イ. 既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

i. 検定料を振込んだものの、出願しなかった場合(出願書類を提出しないまま出願期間が終了したり、書類不備等により出願書類が**受理されなかった場合**)

ii. 誤って検定料を二重に振込んだ場合

iii. 特例措置対象者(16ページ「5. 特例措置」を参照)が**検定料を振込んだ場合**。

※上記iiiに該当する場合は、返還手続(16ページ「5」の(3)申請の方法を参照)を行ってください。

※上記i・iiに該当する場合は、本募集要項添付の「**返還金払戻請求書**」に必要事項を記入し、**払戻の理由を選択**, 氏名欄へ**押印**のうえ、「**検定料納付証明書(大学用)**」を同封して下記へ送付してください(封筒には、「**返還金払戻請求書在中**」と朱書きしてください)。

返還は銀行振込で行います。保護者名義口座の場合は必ず続柄も明記してください。ゆうちょ銀行口座を指定する場合は、振込用の店名・店番・預金種別・口座番号を明記してください。返還には請求書受理後2～3ヶ月程度かかります。

送付期限：平成31年3月29日(金)

送付先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

琉球大学財務部経理課収入・支出係 電話 098-895-8058

5. 東日本大震災及び熊本地震により被災した平成31年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置

被災者の経済的負担を軽減することにより、受験の機会を確保するため、以下のとおり特例措置を実施します。

(1) 措置内容

検定料の免除：30,000円

(2) 免除の対象者及び必要書類

対象者	必要書類
①東日本大震災及び熊本地震における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者	
ア 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	り災証明書
イ 主たる家計支持者が死亡、又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
② 居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

(3) 申請の方法

本学所定の様式（検定料免除申請書）に、り災証明書等を添えて、出願書類とともに同封のうえ提出してください。なお、申請する場合は、「検定料」を振込まないでください。すでに納付した検定料の返還を希望する場合は、本学所定の様式（返還金払戻請求書）に、り災証明書等を添えて工学部学務係へ申請してください。申請後、検定料を返還します。返還金払戻請求書の提出期限は、平成31年3月29日(金)までとします。

提出先 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

国立大学法人琉球大学 工学部学務係 電話 098-895-8583 (直通)

6. 出願書類の提出先

琉球大学工学部学務係（工学部1号館101）

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

7. 入学者選抜方法

- ①受験資格決定は、出願書類による書類審査によって行う。その際、口頭試問型の受験有資格者とならなかった者の内、筆記型と併願している者は、引き続き筆記型を受験することができます。その場合、入学願書の再提出および検定料の重複納入の必要はありません。
- ②受験資格結果の通知は、平成30年6月29日(金)午後本人へ通知します。
- ③入学者の選抜は、口頭試問の結果および出願書類を総合して行います。

〈試験科目及び期日，時間〉

専攻	期日	試験科目（口頭試問）	集合時刻・試験室
機械システム 工学専攻	7月4日 (水)	卒業研究，入学後の研究計画，志望動機などについての口頭による説明に対して審査します。	6月29日（金） 13時に工学部1号館玄関前に掲示します。
電気電子工学 専攻		卒業研究，入学後の研究計画，志望動機などについての口頭による説明に対して審査します。	

※暴風警報の発令等で上記期日に試験が実施できない場合は，7月10日（火）に試験を行います。

8. 配点

専攻	配点		
	外国語（TOEFL, TOEIC）	学業成績	口頭試問（卒業研究，入学後の研究計画，志望動機等）
機械システム 工学専攻	100	200	100
電気電子工学 専攻	外国語（TOEFL, TOEIC）		口頭試問（卒業研究，入学後の研究計画，志望動機等）
	50		

9. 注意事項

- (1) 出願後，出願事項の変更は認めません。
- (2) 試験当日は，集合時刻までに各試験室または控室へ到着してください。
- (3) 集合時刻から30分を超えて遅刻した者は，受験することができません。

10. 合格者発表

合格者の通知は，以下の日時に工学部玄関前と琉球大学工学部ホームページ(<http://www.tec.u-ryukyu.ac.jp/>) に告示するとともに，合格者に郵送にて通知します。

一般選抜口頭試問型	平成30年7月18日（水）13時
-----------	------------------

11. 入学手続

入学手続等の詳細については，合格者に対して「入学手続案内」を平成31年3月上旬に送付します。

(1) 入学手続期間

入学手続期間等については，平成31年3月下旬頃を予定しています。

(2) 入学料及び授業料

入学料は銀行振込となります。詳細は「入学手続案内」でお知らせします。

- ①入学料 282,000円（予定）
- ②授業料（前期分） 267,900円（年額535,800円）（予定）

(注) ①上記については，予定額であり，入学時及び在学中に金額の改定が行なわれた場合は，改定時から新たな金額が適用されます。

②授業料の納入については，本人の申し出により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができます。

③入学料の免除又は徴収猶予あるいは授業料の免除を希望する者（対象者については，合格者に送付する

「入学手続案内」で詳しく説明します。)は、所定の免除申請手続を行なうことにより、免除又は徴収猶予の可否が決定されるまでの間、入学金又は授業料の納付が猶予されます。

(3) 入学手続場所

琉球大学工学部事務室 (工学部 1 号館 1 階 101)

12. 長期履修制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限で修了することが困難である学生を対象に、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修させて学位の取得ができるようにする制度です。申請に基づき、研究科が審査し、最長 4 年間の修業年限で在学し、計画的に課程を修了することになります。

なお、長期履修学生として認められた期間の授業料は、標準修業年限の 2 年間(4 学期)の総額を在学学期で除した額を分割して支払うことになります。

本制度を希望する学生は、あらかじめ事前に指導教員と長期履修の必要性、履修計画を相談し、承諾を得て入学手続期間内に申請してください。

13. 個人情報の取扱い

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報については、入学選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 合格者の氏名等を入学手続に関わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の氏名等を入学後の学籍管理など、修学に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者および学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を、入学金免除・授業料免除および奨学生選考など、修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 個人が特定できないように統計処理したデータを、入学選抜に関する調査・研究などに利用します。

※本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第 9 条に規定されている場合を除き、出願者の同意を得ることなく他の目的で利用、または第三者に提供することはありません。

II. 一般選抜（筆記型）

1. 募集専攻、分野及び募集人員

専攻	分野	第1期募集人員	第2期募集人員
機械システム工学専攻	材料システム工学，熱流体工学，数理機械工学	25名 (口頭試問型若干名含む) (社会人，外国人留学生若干名含む)	2名 (社会人，外国人留学生若干名含む)
環境建設工学専攻	環境計画学，設計工学，環境防災工学	10名 (社会人，外国人留学生若干名含む)	2名 (社会人，外国人留学生若干名含む)
電気電子工学専攻	電磁エネルギー工学，電子物性工学，電子システム工学	22名 (口頭試問型若干名含む) (社会人，外国人留学生若干名含む)	2名 (社会人，外国人留学生若干名含む)
情報工学専攻	システム情報工学，知能情報工学	10名 (社会人，外国人留学生若干名含む)	2名 (社会人，外国人留学生若干名含む)

注1. 一般選抜においては，機械システム工学専攻及び電気電子工学専攻で，口頭試問型と筆記型があり，それぞれ出願資格および出願書類が異なるので注意してください。

注2. 入学定員（機械システム工学専攻 27名，環境建設工学専攻 24名，電気電子工学専攻 24名，情報工学専攻 18名）を第1期募集人員（機械システム工学専攻 25名，環境建設工学専攻 10名，電気電子工学専攻 22名，情報工学専攻 10名）と，第2期募集人員（各専攻とも 2名）に分けて選抜試験を実施します。また，環境建設工学専攻及び情報工学専攻では，別途，推薦特別選抜（環境建設工学専攻 12名及び情報工学専攻 6名）も実施します。（本募集要 5 ページ 推薦特別選抜の項を参照）

2. 出願資格

次の①～⑩のいずれかに該当する者とします。

- ①大学を卒業した者又は平成 31 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- ②学校教育法第 104 条第 4 項により学士の学位を授与された者（大学評価・学位授与機構から学位を授与された者）又は平成 31 年 3 月 31 日までに学士の学位を授与される見込みの者
- ③外国において，学校教育における 16 年の課程を修了した者又は平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑤我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑥専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑦文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号参照）
- ⑧大学に平成 31 年 3 月 31 日までに 3 年以上在学見込みの者，又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者で，所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科が認めた者
- ⑨学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって，本大学院において，大学院におけ

る教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者

⑩本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したものの又は平成31年3月31日までに22歳に達する者

(事前審査)

筆記型において出願資格⑧又は⑩により出願する者は、出願書類提出前に以下の必要書類を提出し、出願資格の事前審査を受けなければなりません。

	第1期	第2期
書類提出期間	平成30年7月4日(水) ～平成30年7月6日(金)	平成30年12月10日(月) ～平成30年12月12日(水)
書類提出場所	工学部学務係	工学部学務係
審査結果の通知	平成30年7月19日(木) 付け	平成30年12月21日(金) 付け

○出願資格⑧の事前審査に係る必要書類

- 1 事前審査申請書
- 2 成績証明書(最新のもの)
- 3 在学証明書
- 4 履修手引き(授業内容一覧および卒業要件が記載されたもの)

○出願資格⑧の出願資格

⑧の出願者は次の(イ)、(ロ)の条件を満たす者とします。

(イ)在学期間について

平成31年3月末において、大学在学期間が3年間に達すること(休学期間は、在学期間に含めません)。又は、外国において15年の課程を修了していること。

(ロ)学業成績について

出願時点において、修得する必要がある科目の全てを修得し、かつ専攻ごとに定める条件(別表参照)を満たすこと。なお、入学試験に合格した後、平成31年3月末までに、次の①、②、③を満たさないと入学を許可しません。

①3年次までに修得する必要がある必修科目の全てを修得すること。

②修得した選択科目を含め卒業要件単位数の90%以上の単位を修得すること。

③修得単位中の点数評価80点に相当する単位が専攻ごとに定める割合(下表参照)に達すること。

専攻	修得単位中の点数評価80点以上に相当する単位の割合	
	出願時	平成31年3月末
機械システム工学専攻	95%以上	95%以上
環境建設工学専攻	95%以上	95%以上
電気電子工学専攻	95%以上	95%以上
情報工学専攻	95%以上	95%以上

〈注意事項〉

※一般選抜に出願予定の者で、現在有職であるか、もしくは入学後有職となることが予定されている者は、必ず事前に志望専攻の予定指導教員と面談を行い、修学条件等について十分確認のうえ出願してください。

※⑧の出願資格により入学した場合、**当人の学部学生としての学籍上の身分は退学となります。**したがって、大学の学部を卒業していることを要件と定められている種々の国家試験等の資格試験は受験できなくなるので注意してください。

○出願資格⑩の事前審査に係る必要書類

- 1 事前審査申請書
- 2 最終出身学校卒業・修了証明書
- 3 最終出身学校成績証明書
- 4 研究・教育歴証明書(研究・教育内容要旨を含む)

なお、参考資料として、研究業績を説明する資料や特許・実用新案取得書類、技能検定認定証明書等を添付してもよい。

※「外国において15年の課程を修了した者で、日本国内又は国外の大学若しくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として相当期間（おおむね1年以上とする）研究に従事しており、平成31年3月31日までに22歳に達するもの」を含みます。

3. 出願期間

(第1期)：平成30年7月20日(金)～7月26日(木)

(第2期)：平成31年1月7日(月)～1月11日(金)

- ①受付時間は、9:00～17:15(但し、12:00～13:00を除く)(但し、土日を除く)
- ②郵送の場合は必ず書留速達とし、上記出願期間内必着のこと。なお、出願期間内に到着しない場合は、受理しないので郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。
- ③受理された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。

4. 出願手続

出願者は、下記の書類を添えて、琉球大学工学部学務係へ提出してください。なお、郵送の場合は、封筒に「大学院入学志願書(博士前期課程)」と朱書してください。

出願書類	注意事項
①入学願書, 受験票	本学所定の用紙を用いること。
②卒業証明書又は卒業見込証明書	出身大学長等(学部長等)が作成したもの。
③成績証明書	出身大学長等(学部長等)が作成したもの。
④外国語(英語)試験スコア票 (環境建設工学専攻については、GTECスコア票でも可能)	<p>「機械システム工学専攻」へ出願する者は、外国語試験の代わりとして、TOEFL(R)-iBT, TOEFL(R)-ITP, TOEIC(R), TOEIC(R)-IPのいずれかのスコア票を提出すること。なお、スコア票が試験日の前日までに工学部学務係へ提出予定の場合は、仮にて受け付けます。(機械システム工学専攻では、口頭試問型、筆記型いずれの場合でも必要です。)</p> <p>「環境建設工学専攻」へ出願する者は、外国語試験として、TOEFL(R)-iBT, TOEFL(R)-ITP, TOEIC(R), TOEIC(R)-IP, GTECいずれかのスコア票を提出すること。なお、スコア票が試験日の前日までに工学部学務係へ提出予定の場合は、仮にて受け付けます。</p> <p>「電気電子工学専攻」へ出願する者は、外国語試験の代わりとして、TOEFL(R)-iBT, TOEFL(R)-ITP, TOEIC(R), TOEIC(R)-IPのいずれかのスコア票を提出すること。なお、スコア票が試験日の前日までに工学部学務係へ提出予定の場合は、仮にて受け付けます。(電気電子工学専攻では、口頭試問型、筆記型いずれの場合でも必要です。)</p> <p>「情報工学専攻」へ出願する者は、外国語試験の代わりとして、TOEFL(R)-iBT, TOEFL(R)-ITP, TOEIC(R), TOEIC(R)-IPいずれかのスコア票を提出すること。なお、スコア票が試験日の前日までに工学部学務係へ提出予定の場合は、仮にて受け付けます。(情報工学専攻の推薦選抜または一般選抜・筆記型で提出済みの者は、提出済みのもので代替できます。)</p>

⑤ 工学系数学統一試験 (EMaT) のスコア	筆記型(第1期)の「 情報工学専攻 」へ出願する者は、数学試験の代わりとして、工学系数学統一試験(EMaT)のスコアを用いることができます。EMaTスコアの利用を希望するものはスコア表を提出し、選択する2科目(線形代数、微分積分、常微分方程式、確率・統計から2つ)を入学願書に記入すること。ただし、選択する二科目のスコアは、同一回の試験で実施したものでなければならない。
⑥ 学位を取得していることを証明する書類	2. 出願資格の⑦(文部科学大臣の指定した者)の場合、提出すること
⑦ 写真2葉	出願前3ヶ月以内に撮影した上半身脱帽の正面向きとし、受験票と入学願書に貼付してください。
⑧ 受験承諾書	現在他の大学院に在学中の者又は在職中の者は、本学所定の用紙を用い、その長の受験承諾書を必要とします。
⑨ 検定料納付証明書(大学用)	検定料 30,000 円(別添の「検定料振込書」を使用すること) 検定料振込期間(第1期):平成30年7月18日(水)~7月26日(木) (第2期):平成30年12月20日(木)~平成31年1月11日(金) ※検定料を最終日に振込む場合は、16時までに振込むこと。その後、当日17時15分(郵送は17時15分必着)までに出願書類一式を提出しなければならないので注意すること。 ※特例措置対象者(16ページの「5. 特例措置」を参照)は、検定料を振込まず申請手続を行うこと。 ※ <u>検定料の振込方法、留意事項については、15ページの「検定料納付について」を参照。</u>
⑩ 返信用封筒(受験票送付用)	<u>出願書類を郵送する者は、長3封筒(縦23cm×横12cm)に400円切手を貼付し志願者の郵便番号、住所、氏名を明記のうえ提出すること。</u>
⑪ 志願者整理票	本学所定の志願者整理票に記入のうえ提出すること。

5. 出願書類の提出先

琉球大学工学部学務係(工学部1号館101)

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

6. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学力検査、面接、出願書類を総合して行います。

(第1期) ① 試験科目及び期日、試験時間

志願者は、各専攻の試験開始30分前に各試験室または控室へ集合してください。

専攻	期日	試験科目(筆記試験)	試験時間	試験室
機械システム 工学専攻	8月9日 (木)	【数学】 工業数学(常微分方程式、線形代数)	10:20~11:30	8月6日(月) 13時までに工学部1号館玄関前に掲示します。

		【専門科目】 材料力学，機械材料および機械工作法， 流体力学，熱力学，制御工学の内から出 願時に3科目を選択 (関数機能をもつ電池式電卓の使用を 認めます。)	13:00~15:30	8月6日(月)13 時までに工学 部1号館玄関 前に掲示しま す。
環境建設工学 専攻	8月9日 (木)	【土木系科目】 構造力学，土質力学，水理学 【建築系科目】 建築計画学，都市計画学，建築環境工 学，建築構造力学，建築防災工学 *出願時に3科目を選択	10:00~11:30	
電気電子工学 専攻	8月9日 (木)	【専門基礎科目】 電磁気学，回路理論，電気数学	9:00~11:20	
		【専門科目】 〈電磁エネルギー工学分野〉 電気機器工学，電力工学，電気電子材料 〈電子物性工学分野〉 電子回路，電子デバイス工学，電子物性 工学 〈電子システム工学分野〉 情報・通信工学，計測・制御工学，コン ピュータ工学 *試験当日に2科目選択し，少なくとも 1科目は志望分野から選択	11:40~12:50	
情報工学専攻	8月9日 (木)	【数 学】 線形代数，工業数学，情報数学，確率及 び統計から 2科目選択 *試験当日に4科目の問題から2科目を 選択	9:00~10:00	
		【専門科目】 アルゴリズムとデータ構造，オペレーテ ィングシステム， 計算機アーキテクチ ャ	10:20~11:50	

※暴風警報の発令等で上記期日に試験が実施できない場合は，8月16日(木)に試験を行います。

(第1期) ②筆記型の面接期日

8月10日(金)。集合時刻，場所は8月6日(月)13時までに工学部1号館玄関前等に掲示します。

※暴風警報の発令等で上記期日に面接が実施できない場合は，8月17日(金)に試験を行います。

(第2期) ①試験科目及び期日，試験時間(第2期)

志願者は，各専攻の試験開始30分前に各試験室へ集合してください。

なお，試験室等については1月28日(月)13時までに工学部1号館玄関前に掲示します。

専攻	期日	試験科目	試験時間	試験室
機械システム 工学専攻	1月30日 (水)	【数学】 工業数学(常微分方程式，線形代数)	10:20~11:30	1月28日(月) 13時までに工

		【専門科目】 材料力学，機械材料および機械工作法， 流体力学，熱力学，制御工学の内から出 願時に3科目を選択 (関数機能をもつ電池式電卓の使用を 認めます。)	13:00~15:30	学部1号館玄 関前に掲示し ます。
		面接	16:00~	
環境建設工学 専攻	1月30日 (水)	【土木系科目】 構造力学，土質力学，水理学	10:00~11:30	1月28日(月) 13時までに工 学部1号館玄 関前に掲示し ます。
		【建築系科目】 建築計画学，都市計画学，建築環境工 学，建築構造力学，建築防災工学 (出願時に3科目を選択)		
		面接	13:00~	
電気電子工学 専攻	1月30日 (水)	【専門基礎科目】 電磁気学，回路理論，電気数学	9:00~11:20	
		【専門科目】 卒業研究および口頭試問	14:00~15:30	
		面接	16:00~17:00	
情報工学専攻	1月30日 (水)	卒業研究等及び研究計画の発表	9:00~12:00	

(第2期) ②筆記型の面接期日

平成31年1月30日(水)。集合時刻，場所は1月28日(月)13時までに工学部1号館玄関前に掲示する。

7. 配点

専攻	配点				
機械システム 工学専攻	専門科目(材料力学，機械材料および機械工作法，流体力学，熱力学，制御工学の内から出願時に3科目選択)	数学	外国語 (TOEFL, TOEIC)	面接	学業成績
	300	100	100	(合・否)	100
環境建設 工学専攻	専門科目 【土木系科目】 構造力学，土質力学，水理学3科目 【建築系科目】 建築計画学，都市計画学，建築環境工学，建築構造力学，建築防災工学の内から3科目選択)		外国語 (TOEFL, TOEIC, GTEC)	面接	学業成績
	300		100	(合・否)	100
電気電子工学 専攻	専門基礎科目(電磁気学，回路理論，電気数学)	外国語 (TOEFL, TOEIC)	専門科目(2科目選択し，少なくとも1科目は志望分野から選択)	面接	学業成績
	100	50	50	(合・否)	60
情報工学専攻 (第1期)	外国語 (TOEFL, TOEIC)	数学(線形代数，工業数学，情報数学，確率及び統計から2科目選択)	専門科目(アルゴリズムとデータ構造，オペレーティングシステム，計算機アーキテクチャ)	面接	学業成績
	100	100	150	(合・否)	150
情報工学専攻 (第2期)	外国語(TOEFL, TOEIC)		口頭試問		学業成績
	100		250		150

8. 注意事項

- (1) 出願後、出願事項の変更は認めません。
- (2) 試験当日は、試験開始 30 分前までに、(面接(口頭試問)においては集合時刻)までに各試験室または控室へ到着してください。
- (3) 試験開始時刻(面接(口頭試問)においては集合時刻)から 30 分を超えて遅刻した者は、受験することができません。

9. 合格者発表

合格者の通知は、以下の日時に工学部玄関前と琉球大学工学部ホームページ(<http://www.tec.u-ryukyu.ac.jp/>) に告示するとともに、合格者に郵送にて通知します。

(第 1 期) 一般選抜筆記型	平成 30 年 9 月 3 日 (月) 13 時
(第 2 期) 一般選抜筆記型	平成 31 年 2 月 14 日 (木) 13 時

10. 入学手続

入学手続等の詳細については、合格者に対して「入学手続案内」を平成 31 年 3 月上旬に送付します。

(1) 入学手続期間

入学手続期間等については、平成 31 年 3 月下旬頃を予定しています。

(2) 入学料及び授業料

入学料は銀行振込となります。詳細は「入学手続案内」でお知らせします。

- ①入学料 282,000 円 (予定)
- ②授業料 (前期分) 267,900 円 (年額 535,800 円) (予定)

(注) ①上記については、予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行なわれた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

②授業料の納入については、本人の申し出により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができます。

③入学料の免除又は徴収猶予あるいは授業料の免除を希望する者(対象者については、合格者に送付する「入学手続案内」で詳しく説明します。)は、所定の免除申請手続を行なうことにより、免除又は徴収猶予の可否が決定されるまでの間、入学料又は授業料の納付が猶予されます。

(3) 入学手続場所：琉球大学工学部事務室(工学部 1 号館 1 階 101)

11. 長期履修制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限で修了することが困難である学生を対象に、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修させて学位の取得ができるようにする制度です。申請に基づき、研究科が審査し、最長 4 年間の修業年限で在学し、計画的に課程を修了することになります。

なお、長期履修学生として認められた期間の授業料は、標準修業年限の 2 年間(4 学期)の総額を在学学期で除した額を分割して支払うことになります。

本制度を希望する学生は、あらかじめ事前に指導教員と長期履修の必要性、履修計画を相談し、承諾を得て入学手続期間内に申請してください。

12. 個人情報の取扱い

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 合格者の氏名等を入学手続に関わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の氏名等を入学後の学籍管理など、修学に係わる業務で利用します。

- (3) 入学手続者および学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を，入学料免除・授業料免除および奨学生選考など，修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 個人が特定できないように統計処理したデータを，入学者選抜に関する調査・研究などに利用します。
※本学が取得した個人情報は，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き，出願者の同意を得ることなく他の目的で利用，または第三者に提供することはありません。

理工学研究科 博士前期課程 (工学系)

■特別選抜

- ・ 社会人特別選抜
(機械システム工学専攻, 環境建設工学専攻, 電気電子工学専攻, 情報工学専攻)
- ・ 社会人特別選抜(現職高校教員)
(機械システム工学専攻, 環境建設工学専攻, 電気電子工学専攻, 情報工学専攻)
- ・ 外国人留学生特別選抜
(機械システム工学専攻, 環境建設工学専攻, 電気電子工学専攻, 情報工学専攻)

出願書類請求, 問合せ先

琉球大学工学部学務係
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
電話 098-895-8583 (直通)
FAX 098-895-8590

募集要項の郵送希望者は返信用封筒(角型2号 33cm×24cm)に250円切手(速達希望者は530円切手)を貼付し,宛先(郵便番号,住所,氏名)を明記の上同封し,上記へ請求してください。

I. 社会人特別選抜

1. 専攻、分野及び募集人員

専攻	分野	第1期募集人員	第2期募集人員
機械システム工学専攻	材料システム工学, 熱流体工学, 数理機械工学	若干名	若干名
環境建設工学専攻	環境計画学, 設計工学, 環境防災工学	若干名	若干名
電気電子工学専攻	電磁エネルギー工学, 電子物性工学, 電子システム工学	若干名	若干名
情報工学専攻	システム情報工学, 知能情報工学	若干名	若干名

注1. 募集人員若干名は、入学定員（機械システム工学専攻 27名、環境建設工学専攻 24名、電気電子工学専攻 24名、情報工学専攻 18名）に含まれます。

(2) 社会人特別選抜(現職高校教員)

専攻	分野	第1期募集人員	第2期募集人員
機械システム工学専攻	材料システム工学, 熱流体工学, 数理機械工学	若干名	若干名
環境建設工学専攻	環境計画学, 設計工学, 環境防災工学		
電気電子工学専攻	電磁エネルギー工学, 電子物性工学, 電子システム工学		
情報工学専攻	システム情報工学, 知能情報工学		

社会人特別選抜(現職高校教員)の入学者には、次の特別な措置があります。

※特別な措置：2年間(標準修業年限)の授業料を免除する。ただし、長期履修制度(33ページ「12.「長期履修制度」を参照)の場合は、計画的な教育課程の修業年限として認められた期間の授業料を免除します。

2. 出願資格

(1) 社会人特別選抜

次の出願資格の各号のいずれかに該当する者で、入学予定年月までに、①～⑦までのいずれかの出願資格を取得後3年以上の社会的経験を持ち、入学後も在職(企業等)している者とし、⑧の出願資格で出願できる者は、3年以上の社会的経験を持ち、入学後も在職(企業等)している者とし、

- ①大学を卒業した者又は平成31年3月31日までに卒業見込みの者
- ②学校教育法第104条第4項により学士の学位を授与された者(大学評価・学位授与機構から学位を授与された者)又は平成31年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は平成31年3月31日までに修了見込みの者
- ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育に

- における 16 年の課程を修了した者又は平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限り、）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑥専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り、）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑦文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号参照）
- ⑧本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22 歳に達したもの又は平成 31 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

(2) 社会人特別選抜(現職高校教員)

上記 (1) の出願資格の各号のいずれかに該当する者で、入学予定年月までに、上記①～⑦までのいずれかの出願資格を取得後沖縄県内で 3 年以上の教職経験を有し、原則として 45 歳以下の者で、入学後も在職している者として、⑧の出願資格で出願できる者は、沖縄県内で 3 年以上の教職経験を有し、原則として 45 歳以下の者で、入学後も在職している者として、

(事前審査)

社会人特別選抜において出願資格⑧により出願する者は、出願書類提出前に以下の必要書類を提出し、出願資格の事前審査を受けなければなりません。

	第 1 期	第 2 期
書類提出期間	平成 30 年 7 月 4 日(水) ～平成 30 年 7 月 6 日(金)	平成 30 年 12 月 10 日(月) ～平成 30 年 12 月 12 日(水)
書類提出場所	工学部学務係	工学部学務係
審査結果の通知	平成 30 年 7 月 19 日 (木) 付け	平成 30 年 12 月 21 日 (金) 付け

〈注意事項〉

※必ず事前に志望専攻の予定指導教員と面談を行い、修学条件等について十分確認のうえ出願してください。

○出願資格⑧の事前審査に係る必要書類

- 1 事前審査申請書
- 2 最終出身学校卒業・修了証明書
- 3 最終出身学校成績証明書
- 4 研究・教育歴証明書(研究・教育内容要旨を含む)

なお、参考資料として、研究業績を説明する資料や特許・実用新案取得書類、技能検定認定証明書等を添付も認めます。

※「外国において 15 年の課程を修了した者で、日本国内又は国外の大学若しくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として相当期間（おおむね 1 年以上とする）研究に従事しており、平成 31 年 3 月 31 日までに 22 歳に達するもの」を含みます。

3. 出願期間

(第 1 期) : 平成 30 年 7 月 20 日 (金) ～ 7 月 26 日 (木) まで

(第 2 期) : 平成 31 年 1 月 7 日 (月) ～ 1 月 11 日 (金)

- ①受付時間は、9:00～17:15（但し、12:00～13:00を除く）（但し、土日を除く）
- ②郵送の場合は必ず書留速達とし、上記出願期間内必着のこと。なお、出願期間内に到着しない場合は、受理しないので郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送すること。
- ③受理された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。

4. 出願手続

入学志願者のうち（第1期）出願希望者は平成30年7月2日（月）まで、（第2期）出願希望者は平成30年12月3日（月）までに、必ず志望専攻の予定指導教員との面談を行い、修学条件等について十分確認のうえ下記の書類を添えて、琉球大学工学部学務係へ提出してください。

なお、郵送の場合は、封筒に「大学院入学志願書（博士前期課程）」と朱書してください。

出願書類	注意事項
①入学願書、受験票	本学所定の用紙を用いること。
②卒業証明書又は卒業見込証明書	出身大学長等（学部長等）が作成したもの。
③成績証明書	出身大学長等（学部長等）が作成したもの。
④学位を取得していることを証明する書類	[2. 出願資格の⑦に該当する者]
⑤写真2葉	出願前3ヶ月以内に撮影した上半身脱帽の正面向きとし、受験票と入学願書に貼付してください。
⑥受験承諾書	現在他の大学院に在学中の者又は在職中の者は、本学所定の用紙を用い、その長の受験承諾書を必要とします。
⑦検定料納付証明書（大学用）	検定料 30,000 円（別添の「検定料振込書」を使用してください。） 検定料振込期間（第1期）：平成30年7月18日(水)～7月26日(木) （第2期）：平成30年12月20日(木)～平成31年1月11日(金) ※検定料を最終日に振込む場合は、16時まで振込むこと。その後、当日17時15分（郵送は17時15分必着）までに出願書類一式を提出しなければならないので注意してください。 ※特例措置対象者（16ページ「5. 特例措置」を参照）は、検定料を振込まず申請手続を行ってください。 ※検定料の振込方法、留意事項については、15ページの「検定料納付について」を参照。
⑧返信用封筒（受験票送付用）	出願書類を郵送する者は、長3封筒（縦23cm×横12cm）に400円切手を貼付し志願者の郵便番号、住所、氏名を明記のうえ提出すること。
⑨志願者整理票	本学所定の志願者整理票に記入のうえ提出すること。
⑩研究計画概要	本学所定の用紙を用いること。
⑪研究業績報告書	卒業論文、研究報告書、学術論文の業績を有する者は、その概要を本学所定の用紙にまとめて提出すること。

5. 出願書類の提出先

琉球大学工学部学務係（工学部1号館101）

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

6. 入学者選抜方法

(1) 社会人特別選抜

社会人の入学者選抜は、書類審査、小論文、面接（口述試験含む）の結果を総合して行います。

(第1期) 小論文、面接の日時及び試験場

志願者は、各専攻の試験開始 30 分前に各試験室へ集合してください。

専攻名	期日	試験科目	時間	場所	試験室
機械システム 工学専攻	8月10日 (金)	小論文	10:30~11:30	工学部	8月6日(月)13時に工学部1号館玄関前に掲示します。
		面接	13:00~		
環境建設工学 専攻		小論文	10:00~11:30		
		面接	13:00~		
電気電子工学 専攻		小論文	10:00~11:30		
		面接	13:00~		
情報工学専攻	小論文	10:00~11:30			
	面接	13:00~			

※暴風警報の発令等で上記期日に試験が実施できない場合は、8月2日(火)に試験を行います。

(第2期) 小論文、面接の日時及び試験場

志願者は、各専攻の試験開始 30 分前に各試験室へ集合すること。

専攻名	期日	試験科目	時間	場所	試験室
機械システム 工学専攻	1月30日 (水)	小論文	13:00~14:00	工学部	1月28日(月)13時に工学部1号館玄関前に掲示します。
		面接	16:00~		
環境建設工学 専攻		小論文	10:00~11:30		
		面接	13:00~		
電気電子工学 専攻		小論文	10:00~11:30		
		面接	13:00~		
情報工学専攻	小論文	9:00~10:30			
	面接	13:00~			

(2) 社会人特別選抜(現職高校教員)

社会人(現職高校教員)の入学者選抜は、書類審査、小論文、面接(口述試験含む)の結果を総合して行います。

(第1期) 小論文、面接の日時及び試験場

志願者は、各専攻の試験開始 30 分前に各試験室へ集合してください。

専攻名	期日	試験科目	時間	場所	試験室
機械システム 工学専攻	8月10日 (金)	小論文	10:30~11:30	工学部	8月6日(月)13時に工学部1号館玄関前に掲示します。
		面接	13:00~		
環境建設工学 専攻		小論文	10:00~11:30		
		面接	13:00~		
電気電子工学 専攻		小論文	10:00~11:30		
		面接	13:00~		
情報工学専攻	小論文	10:00~11:30			
	面接	13:00~			

※暴風警報の発令等で上記期日に試験が実施できない場合は、8月1日(火)に試験を行います。

(第2期) 小論文、面接の日時及び試験場

志願者は、各専攻の試験開始 30 分前に各試験室へ集合してください。

専攻名	期日	試験科目	時間	場所	試験室
機械システム 工学専攻	1月30日 (水)	小論文	13:00~14:00	工学部	1月28日(月)13時に工学部1号館玄関前に掲示します。
		面接	16:00~		

環境建設 工学専攻	1月30日 (水)	小論文	10:00~11:30	工学部	1月28日(月)13 時に工学部1号館 玄関前に掲示しま す。
		面接	13:00~		
電気電子 工学専攻		小論文	10:00~11:30		
		面接	13:00~		
情報工学 専攻		小論文	9:00~10:30		
		面接	13:00~		

7. 配点

<社会人特別選抜>

専攻	配点		
機械システム 工学専攻	学力検査等(小論文)		面接
	100		(合・否)
環境建設工学 専攻	学力検査等(小論文)		面接
	100		(合・否)
電気電子工学 専攻	学力検査等(小論文)	学業成績	面接
	100	60	(合・否)
情報工学専攻	学力検査等(小論文)		面接
	100		(合・否)

<社会人特別選抜(現職高校教員)>

専攻	配点		
機械システム 工学専攻	学力検査等(小論文)		面接
	100		(合・否)
環境建設工学 専攻	学力検査等(小論文)		面接
	100		(合・否)
電気電子工学 専攻	学力検査等(小論文)	学業成績	面接
	100	60	(合・否)
情報工学専攻	学力検査等(小論文)		面接
	100		(合・否)

8. 注意事項

- (1) 出願後、出願事項の変更は認めません。
- (2) 試験当日は、試験開始30分前までに、(面接(口頭試問)においては集合時刻)までに各試験室または控室へ到着してください。
- (3) 試験開始時刻(面接(口頭試問)においては集合時刻)から30分を超えて遅刻した者は、受験することができません。

9. 合格者発表

合格者の通知は、以下の日時に工学部玄関前と琉球大学工学部ホームページ(<http://www.tec.u-ryukyu.ac.jp/>)に告示するとともに、合格者に郵送にて通知します。

(第1期) 社会人特別選抜, 社会人特別選抜(現職高校教員)	平成30年9月3日(月)13時
(第2期) 社会人特別選抜, 社会人特別選抜(現職高校教員)	平成31年2月14日(木)13時

10. 入学手続

入学手続等の詳細については、合格者に対して「入学手続案内」を平成31年3月上旬に送付します。

- (1) 入学手続期間

入学手続期間等については、平成 31 年 3 月下旬頃を予定しています。

(2) 入学料及び授業料

入学料は銀行振込となります。詳細は「入学手続案内」でお知らせします。

- ①入学料 282,000 円（予定）
- ②授業料（前期分） 267,900 円（年額 535,800 円）（予定）

(注) ①上記については、予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行なわれた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

②授業料の納入については、本人の申し出により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができます。

③入学料の免除又は徴収猶予あるいは授業料の免除を希望する者（対象者については、合格者に送付する「入学手続案内」で詳しく説明します。）は、所定の免除申請手続を行なうことにより、免除又は徴収猶予の可否が決定されるまでの間、入学料又は授業料の納付が猶予されます。

(3) 入学手続場所

琉球大学工学部事務室（工学部 1 号館 1 階 101）

11. 長期履修制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限で修了することが困難である学生を対象に、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修させて学位の取得ができるようにする制度です。申請に基づき、研究科が審査し、最長 4 年間の修業年限で在学し、計画的に課程を修了することになります。

なお、長期履修学生として認められた期間の授業料は、標準修業年限の 2 年間(4 学期)の総額を在学学期で除した額を分割して支払うことになります。

本制度を希望する学生は、あらかじめ事前に指導教員と長期履修の必要性、履修計画を相談し、承諾を得て入学手続期間内に申請してください。

12. 個人情報の取扱い

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 合格者の氏名等を入学手続に関わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の氏名等を入学後の学籍管理など、修学に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者および学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除・授業料免除および奨学生選考など、修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 個人が特定できないように統計処理したデータを、入学者選抜に関する調査・研究などに利用します。

※本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第 9 条に規定されている場合を除き、出願者の同意を得ることなく他の目的で利用、または第三者に提供することはありません。

13. 社会人特別選抜 趣旨

地域の社会・生活構造の急速な変化が進みつつある中で、特に社会人において理工学的な専門知識・資格を求める声が強くなっています。本研究科ではそのような社会人に門戸を開くために、大学院設置基準第 14 条の規定に基づく教育方法の特例を適用します。

教育方法等

(1) 修業年限

特例に基づく理工学研究科博士前期課程（修士）の修業年限は2年とします。

(2) 履修方法

大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の趣旨を積極的に活用し、職業を有する社会人学生の履修上の便宜を図るため、2年間の全期間にわたって以下の履修方法を採用します。

- ① 社会人教育に対しては、通常の時間帯のほか、特例による授業時間帯を設け、両授業時間帯において、課程修了に必要な単位（30単位以上）を履修できるものとします。
- ② 社会人学生は、履修計画を指導教員の指導のもとに作成するものとします。
- ③ 社会人学生以外の一般学生で指導教員が必要と認めたものについては、上記の特例に基づいて開設される授業科目を履修し、課程修了に必要な単位に含めることができます。

(3) 授業の実施方法

上記特例による授業時間帯は、原則として、夜間に2時限（18時00分～21時55分）設定するものとします。なお、場合によっては土曜日及び特定の時期に設定することもあります。

入学者選抜の方法等

(1) 入学定員

機械システム工学専攻	27名	うち社会人若干名
環境建設工学専攻	24名	うち社会人若干名
電気電子工学専攻	24名	うち社会人若干名
情報工学専攻	18名	うち社会人若干名

(2) 選抜の方法

社会人入学者の選抜は、書類審査、小論文、面接（口述試験を含む）により行います。

注意事項

志願者の研究内容によっては、本学に適切な指導者がいない場合があります。また専攻によっては、1年目は昼間において課程修了に必要な単位を履修し、2年目は夜間において修士論文の作成のための研究を行うこともあるので、必ず出願前に志望専攻の専攻主任及び予定指導教員に問い合わせてください。

II. 外国人留学生特別選抜

1. 専攻、分野及び募集人員

専攻	分野	第1期募集人員	第2期募集人員
機械システム工学専攻	材料システム工学, 熱流体工学, 数理機械工学	若干名	若干名
環境建設工学専攻	環境計画学, 設計工学, 環境防災工学	若干名	若干名
電気電子工学専攻	電磁エネルギー工学, 電子物性工学, 電子システム工学	若干名	若干名
情報工学専攻	システム情報工学, 知能情報工学	若干名	若干名

注1. 募集人員若干名は、入学定員（機械システム工学専攻 27名、環境建設工学専攻 24名、電気電子工学専攻 24名、情報工学専攻 18名）に含まれます。

2. 出願資格

次の各号のすべてに該当する者とします。

- ①日本の国籍を有しない者
- ②外国において学校教育における16年の課程を修了した者又は平成31年3月修了見込みの者、あるいはこれと同等以上の学力があると本研究科が認めた者（下記事前審査参照）
- ③修学に必要な日本語の能力を有している者
- ④当該専攻の出願許可を得られた者
- ⑤出入国管理及び難民認定法に基づく大学入学に支障のない在留資格を有する者及び取得できる見込みの者

（出願資格②関係）

本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したものの又は平成31年3月31日までに22歳に達する者とします。

（事前審査）

これにより出願する者は、出願資格の事前審査を受けなければなりません。

	第1期	第2期
書類提出期間	平成30年7月4日(水) ～平成30年7月6日(金)	平成30年12月10日(月) ～平成30年12月12日(水)
書類提出場所	工学部学務係	工学部学務係
審査結果の通知	平成30年7月19日(木) 付け	平成30年12月21日(金) 付け

○出願資格②の事前審査に係る必要書類

- 1 事前審査申請書
- 2 最終出身学校卒業・修了証明書
- 3 最終出身学校成績証明書
- 4 研究・教育歴証明書(研究・教育内容要旨を含む)

なお、参考資料として、研究業績を説明する資料や特許・実用新案取得書類、技能検定認定証明書等を添付することを認めます。

※「外国において15年の課程を修了した者で、日本国内又は国外の大学若しくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として相当期間（おおむね1年以上と

する) 研究に従事しており, 平成 31 年 4 月 1 日までに 22 歳に達するもの」を含みます。

3. 出願期間

外国人留学生特別選抜

(第 1 期) : 平成 30 年 7 月 20 日 (金) ~ 7 月 26 日 (木)

(第 2 期) : 平成 31 年 1 月 7 日 (月) ~ 1 月 11 日 (金)

- ①受付時間は, 9:00~17:15 (但し, 12:00~13:00 を除く) (但し, 土日を除く)
- ②郵送の場合は必ず書留速達とし, 上記出願期間内必着のこと。なお, 出願期間内に到着しない場合は, 受理しないので郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。
- ③受理された出願書類は, いかなる理由があっても返還しません。

4. 出願手続

出願者は, 志望する専攻の専攻主任と相談のうえ, 下記の①から⑩までの出願書類を取り揃えて, 出願期間内に提出してください。なお, 郵送の場合は, 封筒に「大学院入学志願書 (博士前期課程)」と朱書してください。

- ①入学願書, 受験票 本学所定の用紙を用いること。
- ②卒業証明書又は卒業見込証明書 出身大学に係るもの。
- ③成績証明書 日本語訳を添付すること。
- ④外国人登録原票記載事項証明書 在留資格を証明するもの。
- ⑤日本語理解力調査書 公的機関等の職員が作成したもの (国費外国人留学生は不要)。
- ⑥受験承諾書 在職中の者及び他大学院に在学中の者は, 受験許可書を提出すること。
- ⑦写真 2 葉 出願前 3 ヶ月以内に撮影した上半身脱帽 (縦 5 cm×横 4 cm) とし, 入学願書と受験票に貼付すること。
- ⑧返信用封筒 (受験票返送用) 出願書類を郵送する者は, 長 3 封筒 (縦 23 cm×横 12 cm) に 400 円切手を貼付し志願者の郵便番号, 住所, 氏名を明記のうえ提出すること。
- ⑨志願者整理票 本学所定の志願者整理票に記入のうえ提出すること。
- ⑩検定料納付証明書 (大学用) 検定料 30,000 円 (別添の「検定料振込書」を使用すること)
国費外国人留学生については, 検定料, 入学料及び授業料を徴収しません。ただし, 検定料については, 出願時において, 平成 31 年 4 月 1 日以降も国費外国人留学生としての身分を有する者に限ります。

検定料振込期間 (第 1 期) : 平成 30 年 7 月 18 日(水)~ 7 月 26 日(木)

(第 2 期) : 平成 30 年 12 月 20 日(木)~平成 31 年 1 月 11 日(金)

※ 検定料を最終日に振込む場合は, 16 時まで振込んでください。その後, 当日 17 時 15 分 (郵送は 17 時 15 分必着) までに書類一式を提出しなければならないので注意してください。

※ 特例措置対象者 (16 ページ「5. 特例措置」を参照) は, 検定料を振込まず申請手続を行ってください。

※ 検定料の振込方法, 留意事項については, 15 ページの「検定料納付について」を参照。

5. 出願書類の提出先

琉球大学工学部学務係 (工学部 1 号館 101)

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

6. 入学者選抜方法

外国人留学生特別選抜

入学者の選抜は、学力検査、面接、出願書類の審査を総合して行います。

(第1期) 学力検査及び面接の期日、試験科目及び試験時間

志願者は、各専攻の試験開始30分前に各試験室へ集合してください。

専攻名	期日	試験科目	試験時間	試験室
機械システム 工学専攻	8月9日(木)	工業数学(常微分方程式, 線形代数)	10:20~11:30	8月6日 (月)13時に 工学部1号 館玄関前に 掲示しま す。
		[専門科目] 材料力学, 機械材料および機 械工作法, 流体力学, 熱力学, 制御工学から出願時に1科目 選択	13:00~13:50	
	8月10日(金)	日本語(小論文)	10:30~11:30	
		面接	13:00~	
環境建設 工学専攻	8月10日(金)	日本語(小論文)	10:0~11:30	
電気電子 工学専攻		口述, 面接	13:00~	
		物理・数学	9:00~10:30	
情報工学 専攻		日本語(小論文)	10:40~11:40	
		口述, 面接	13:10~13:40	
		数学(線形代数学, 工業数学, 情報数学, 確率統計学から出 願時に2科目選択)	9:00~10:00	
	情報工学(アルゴリズムとデー タ構造, オペレーティングシス テム, 計算機アーキテクチャ から出願時に1科目選択)	10:20~10:50		
日本語	11:10~12:10			
口述, 面接	13:10~13:40			

※暴風警報の発令等で上記期日に試験が実施できない場合は、8月17日(金)に試験を行います。(機械システム工学専攻受験者は、8月16日(木)、8月17日(金)に試験を行います。)

注意事項

- ア. 出願後、いかなる理由があっても出願事項の変更は認めません。
- イ. 日本の大学を卒業した者(又は卒業見込みの者)の選考については、この特別選抜によりません。

(第2期) 学力検査及び面接の期日、試験科目及び試験時間

志願者は、各専攻の試験開始30分前に各試験室へ集合すること。

専攻名	期日	試験科目	試験時間	試験室
機械システム 工学専攻	1月30日(水)	工業数学(常微分方程式, 線形代数)	10:20~11:30	1月28日 (月)13時 に工学部 1号館玄 関前に掲 示します。
		日本語(小論文)	13:00~14:00	
		[専門科目] 材料力学, 機械材料および機 械工作法, 流体力学, 熱力学, 制御工学の内から出願時に1 科目選択	14:40~15:30	
		面接	16:00~	
環境建設 工学専攻	日本語(小論文)	10:00~11:30		
	口述, 面接	13:00~		

電気電子工学専攻	1月30日(水)	物理・数学	9:00～10:30	1月28日(月)13時に工学部1号館玄関前に掲示します。
		日本語(小論文)	10:40～11:40	
		口述, 面接	13:10～13:40	
数学(線形代数学, 工業数学, 情報数学, 確率統計学から出願時に2科目選択)		9:00～10:30		
情報工学(アルゴリズムとデータ構造, オペレーティングシステム, 計算機アーキテクチャから出願時に1科目選択)				
日本語(小論文)		10:50～11:50		
口述, 面接	13:00～			

注意事項

- ア. 出願後, いかなる理由があっても出願事項の変更は認めません。
 イ. 日本の大学を卒業した者(又は卒業見込みの者)の選考については, この特別選抜によりません。

7. 配点

専攻	配点			
機械システム工学専攻	専門科目(材料力学, 機械材料および機械工作法, 流体力学, 熱力学, 制御工学の内から出願時に1科目を選択)	工業数学	日本語(小論文)	面接
	100	100	100	(合・否)
環境建設工学専攻	日本語(小論文)		口述・面接	
	100		(合・否)	
電気電子工学専攻	物理・数学	日本語(小論文)	口述, 面接	
	100	100	(合・否)	
情報工学専攻	数学(線形代数学, 工業数学, 情報数学, 確率統計学から出願時に2科目選択)	情報工学(アルゴリズムとデータ構造, オペレーティングシステム, 計算機アーキテクチャから出願時に1科目選択)	日本語(小論文)	口述, 面接
	100	100	100	(合・否)

8. 注意事項

- 出願後, 出願事項の変更は認めません。
- 試験当日は, 試験開始30分前までに, (面接(口頭試問)においては集合時刻)までに各試験室または控室へ到着してください。
- 試験開始時刻(面接(口頭試問)においては集合時刻)から30分を超えて遅刻した者は, 受験することができません。

9. 合格者発表

合格者の通知は, 以下の日時に工学部玄関前と琉球大学工学部ホームページ(<http://www.tec.u-ryukyu.ac.jp/>)に告示するとともに, 合格者に郵送にて通知します。

(第1期)外国人留学生特別選抜	平成30年9月3日(月)13時
(第2期)外国人留学生特別選抜	平成31年2月14日(木)13時

10. 入学手続

入学手続等の詳細については、合格者に対して「入学手続案内」を平成 31 年 3 月上旬に送付します。

(1) 入学手続期間

入学手続期間等については、平成 31 年 3 月下旬頃を予定しています。

(2) 入学料及び授業料

入学料は銀行振込となります。詳細は「入学手続案内」でお知らせします。

①入学料 282,000 円 (予定)

②授業料 (前期分) 267,900 円 (年額 535,800 円) (予定)

(注) ①上記については、予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行なわれた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

②授業料の納入については、本人の申し出により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができます。

③入学料の免除又は徴収猶予あるいは授業料の免除を希望する者 (対象者については、合格者に送付する「入学手続案内」で詳しく説明します。) は、所定の免除申請手続を行なうことにより、免除又は徴収猶予の可否が決定されるまでの間、入学料又は授業料の納付が猶予されます。

(3) 入学手続場所

琉球大学工学部事務室 (工学部 1 号館 1 階 101)

11. 長期履修制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限で修了することが困難である学生を対象に、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修させて学位の取得ができるようにする制度です。申請に基づき、研究科が審査し、最長 4 年間の修業年限で在学し、計画的に課程を修了することになります。

なお、長期履修学生として認められた期間の授業料は、標準修業年限の 2 年間(4 学期)の総額を在学学期で除した額を分割して支払うこととなります。

本制度を希望する学生は、あらかじめ事前に指導教員と長期履修の必要性、履修計画を相談し、承諾を得て入学手続期間内に申請してください。

12. 個人情報の取扱い

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

(1) 合格者の氏名等を入学手続に関わる業務で利用します。

(2) 入学手続者の氏名等を入学後の学籍管理など、修学に係わる業務で利用します。

(3) 入学手続者および学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入金管理に係わる業務で利用します。

(4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除・授業料免除および奨学生選考など、修学支援に係わる業務で利用します。

(5) 個人が特定できないように統計処理したデータを、入学者選抜に関する調査・研究などに利用します。

※本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第 9 条に規定されている場合を除き、出願者の同意を得ることなく他の目的で利用、または第三者に提供することはありません。

入試案内添付資料

専攻別試験科目の主な出題範囲

機械システム工学専攻

科目名	主な出題範囲
工業数学	常微分方程式, 線形代数学
材料力学	単軸応力と歪, 軸の振り, 梁の曲げ
機械材料	状態図, 熱処理, 金属材料・セラミックス・高分子の組織と強度
機械工作法	鋳造, 溶接, 塑性加工, 切削加工, 研削加工の理論と応用
流体力学	オイラーの式, ベルヌーイの式, 粘性法則等流体力学の基礎とその応用
熱力学	熱力学の第一および第二法則, 理想気体の諸変化, 水蒸気の性質等熱力学の基礎
制御工学	伝達関数, ブロック線図, 応答 (ステップ応答, 周波数応答など), 安定判別など

環境建設工学専攻

科目名	主な出題範囲	
土木系科目	構造力学	静定構造, 不静定構造, エネルギー法及びたわみ角法による基礎的な骨組並びに構造部材の線形解析
	土質力学	土の力学的性質, 透水, 土の圧密問題, 安定問題 (沈下, 土圧, 斜面, 基礎)
	水理学	基礎方程式, 静水力学, 開水路及び管路の流れ
建築系科目	建築計画学	建築計画, 建築史
	都市計画学	都市計画, 土地利用計画と規制, 市街地整備
	建築環境工学	音響, 日照, 日射, 温熱, 伝達, 換気, 湿気
	建築構造力学	静定構造及び簡単な不静定構造, 仮想仕事法
	建築防災工学	地震と耐震構造, 台風と耐風構造, 地盤と基礎構造

電気電子工学専攻

科目名	主な出題範囲	
電磁気学	真空中の静電界, 静電容量, 定電流と磁界, 電磁誘導	
回路理論	直流回路, 交流回路, 過渡現象, 分布定数回路	
電気数学	線形代数学, 常微分方程式, フーリエ解析, 複素関数	
電気機器工学	直流機, 変圧器, 同期機, 誘導機	
	電力工学	送配電方式, 発電方式, 安定度, 系統保護, 系統運用・制御
電気電子材料	導電材料, 抵抗材料, 誘電・絶縁材料, 磁性材料, 結晶, 合金, 状態図	
電子物性工学	電子物性工学	量子論, 結晶構造, 金属の自由電子論, 格子振動, 固体の電気伝導, 物質の光学的性質, 誘電体
	電子デバイス工学	半導体の基礎的性質, pn接合, 接合型/電界効果トランジスタ, 集積回路
	電子回路	増幅回路, 発振回路, 演算増幅器回路
情報システム工学	情報・通信工学	情報伝送, 通信システム, 電磁波, アンテナ
	計測・制御工学	電気電子計測, 伝達関数, 状態方程式, 安定性, レギュレータ
	コンピュータ工学	論理関数, 論理回路, デジタル信号処理

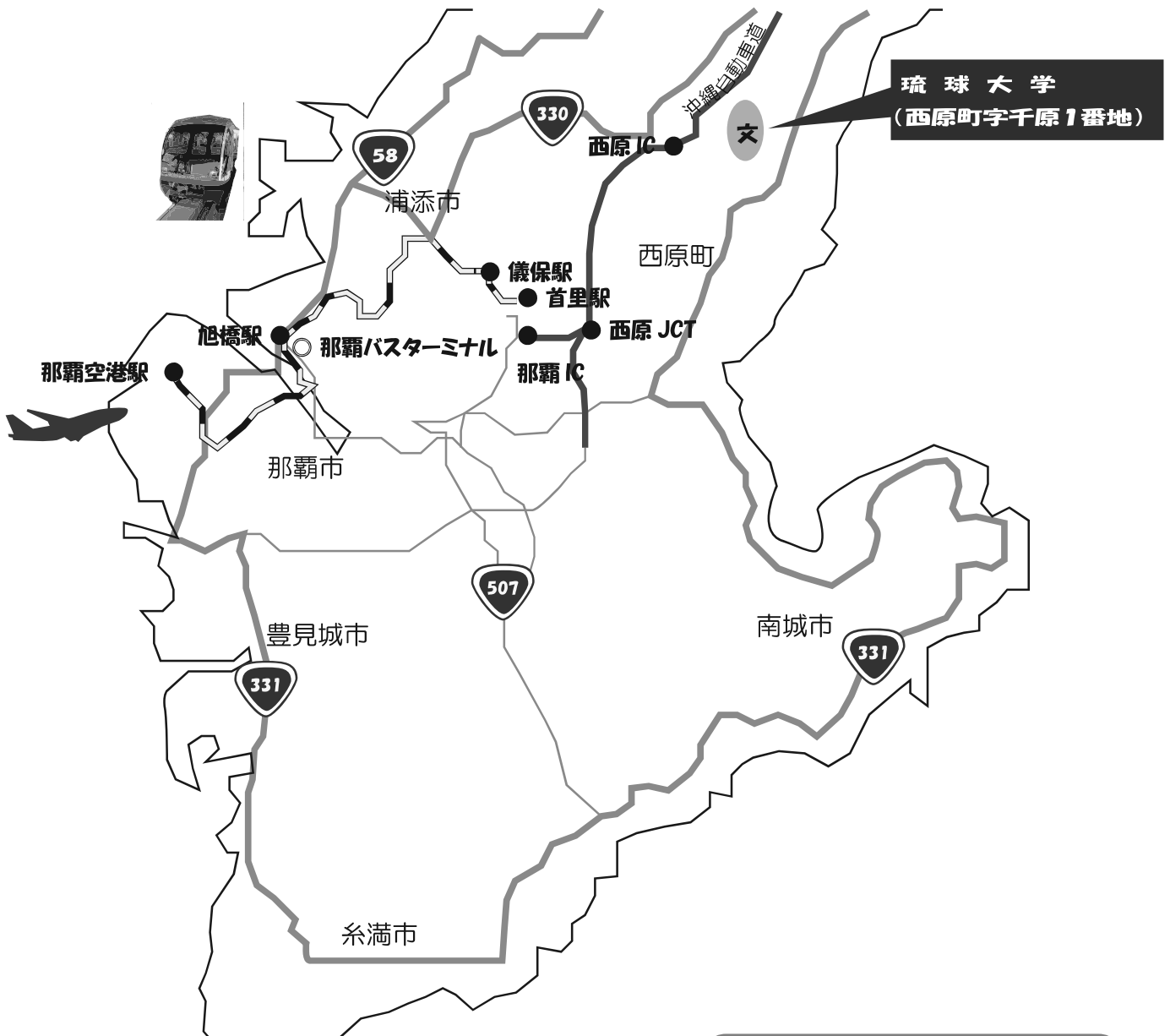
情報工学専攻

科目名	主な出題範囲
線形代数	行列, 連立1次方程式, 行列式, ベクトル, 固有値, 線形変換, 線形写像
工業数学	常微分方程式, 連立微分方程式
情報数学	集合, 群, 環, 体, 束, ブール代数
確率及び統計	確率変数, 分布, 統計的推測
オペレーティングシステム	オペレーティングシステムの機能, ファイルシステム, プロセス, スケジューリング, 同期機構, メモリ管理, ページングとセグメンテーション, 仮想記憶, セキュリティ, 仮想計算機など
アルゴリズムとデータ構造	アルゴリズム設計の概要, 基本データ構造 (リスト, キュー, スタック, ヒープ), 整列 (バケットソート, 選択法, 挿入法, クイックソート, マージソート, ヒープソート), 探索 (二分探索木, ハッシュ法), グラフの基本アルゴリズムなど
計算機アーキテクチャ	データの流れ制御の流れ, 命令セットアーキテクチャ, バイプライン処理, キャッシュと仮想記憶, 命令レベル並列処理, 入出力方式など

琉球大学大学院理工学研究科概要（工学系）

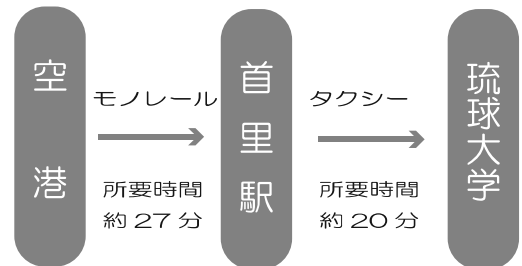
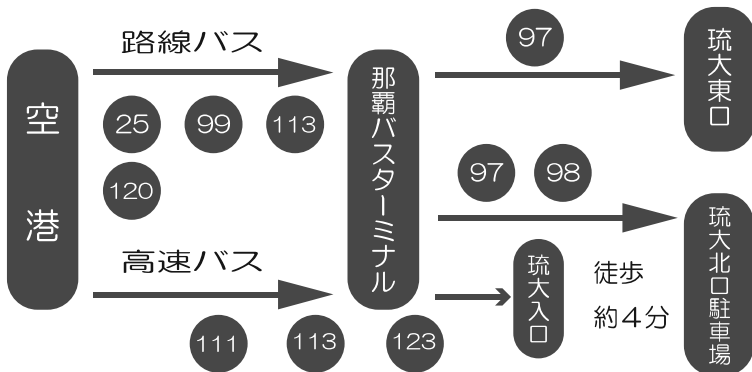
専攻	分野	研究内容
機械システム工学専攻	材料システム工学	傾斜機能材料, 多孔質体, 金属, プラスチックス, セラミックス, 電析薄膜, 電気化学測定法, 相転移論, 射出成形, 鋳造, 塑性加工, 切削加工, 研削, 溶接, 溶射, 合金接合, 腐食, 防食, 腐食疲労, 疲労破壊, 転位組織, 摩耗, 塑性力学, 塑性構成式, 破面解析, 破壊力学, 計算機シミュレーション (有限要素, 有限差分, 境界適合要素, モンテカルロ法)
	熱流体工学	乱流境界層, 空気力学, 衝撃波工学, 数値流体力学, 回転翼理論, 非定常流れ, 表面波を伴う流れとガス吸収, ポンプ及び送風機, 管路内流れ, 管路要素, 流体計測, 流れの可視化, 凝縮熱伝達, 熱交換器, 伝熱促進・制御, 太陽熱利用海水淡水化, 濃縮技術, 電子機器の冷却, 内燃機関, 風力エネルギー, 振動翼推進機構, スポーツ工学
	数理機械工学	表面改質, 接触疲労, 機械要素強度設計, 機械材料, 画像処理, 信号処理, 最適制御, ロバスト制御, 神経回路網, 遺伝アルゴリズム, 応用振動工学, ロボットビジョン, 非線形制御, 噴霧の微粒化と着火燃焼, 可視化画像・情報解析
環境建設工学専攻	環境計画学	土木計画, 環境計画, 地域計画, 災害リスクマネジメント, 建築計画, 建築意匠, 建築史, 住宅計画, 持続可能建築, 省エネルギー建築, 都市熱環境, 建築熱環境, 数値流体力学, 騒音制御, 音響設計, 都市計画, 地域開発, ランドスケープ
	設計工学	鉄筋コンクリート構造, 鋼構造, 鋼管コンクリート構造, プレストレスコンクリート, 補強コンクリートブロック構造, 破壊力学, 座屈・耐力, 構造振動, 疲労, 腐食, 防食, 耐震性能, 耐震補強, 鉄筋コンクリートの耐久性, 塩害環境評価, 複合材料, 建築材料, フレッシュコンクリートのレオロジー, 維持管理工学, 計算力学, 橋梁設計, 環境シミュレーション, フライアッシュの有効利用, 非線形解析, 有限要素解析
	環境防災工学	応用流体力学, 海岸工学, 波の変形, 非線形波動, 砕波, 沿岸防災, 波浪堆算, 河川防災, 沿岸生態系, 土質力学, 土質動力学, 粘土の構成式, 液状化抵抗, 赤土流出防止対策, 岩盤工学, 地盤数値解析, 基礎工学, 水資源, 風工学, 上空風観測, 高層建築物の耐風安定性
電気電子工学専攻	電磁エネルギー工学	電気機器制御, 自然エネルギー, エネルギー変換, パワーエレクトロニクス, プラズマの発生と制御, 電力工学, 電力系統工学, 磁性材料, 磁気応用
	電子物性工学	半導体放射線検出器, ダイヤモンド状炭素薄膜の合成, 薄膜プロセス, 多孔質Siの構造評価, 強誘電体薄膜の合成, 多値論理回路の合成, 超高速演算回路の設計, 量子計算機の設計
	電子システム工学	現代制御理論, 知的制御, 非線形制御, フィルタ設計, 並列分散アルゴリズム, ソフトコンピューティングと画像処理, リモートセンシング, 情報通信工学, 計測工学, 光伝送工学, フォールトトレラントシステム, 非同期システム
情報工学専攻	システム情報工学	計算機システム論, 信号処理論, 情報通信論, 情報基礎論, ソフトウェアシステム論, マルチメディア情報処理論, システムアーキテクチャ論
	知能情報工学	音声情報処理論, アドバンスト制御論, 知能システム論, システム解析論, 知能ロボット論, 複雑系工学論, 数理モデル論

琉球大学案内図

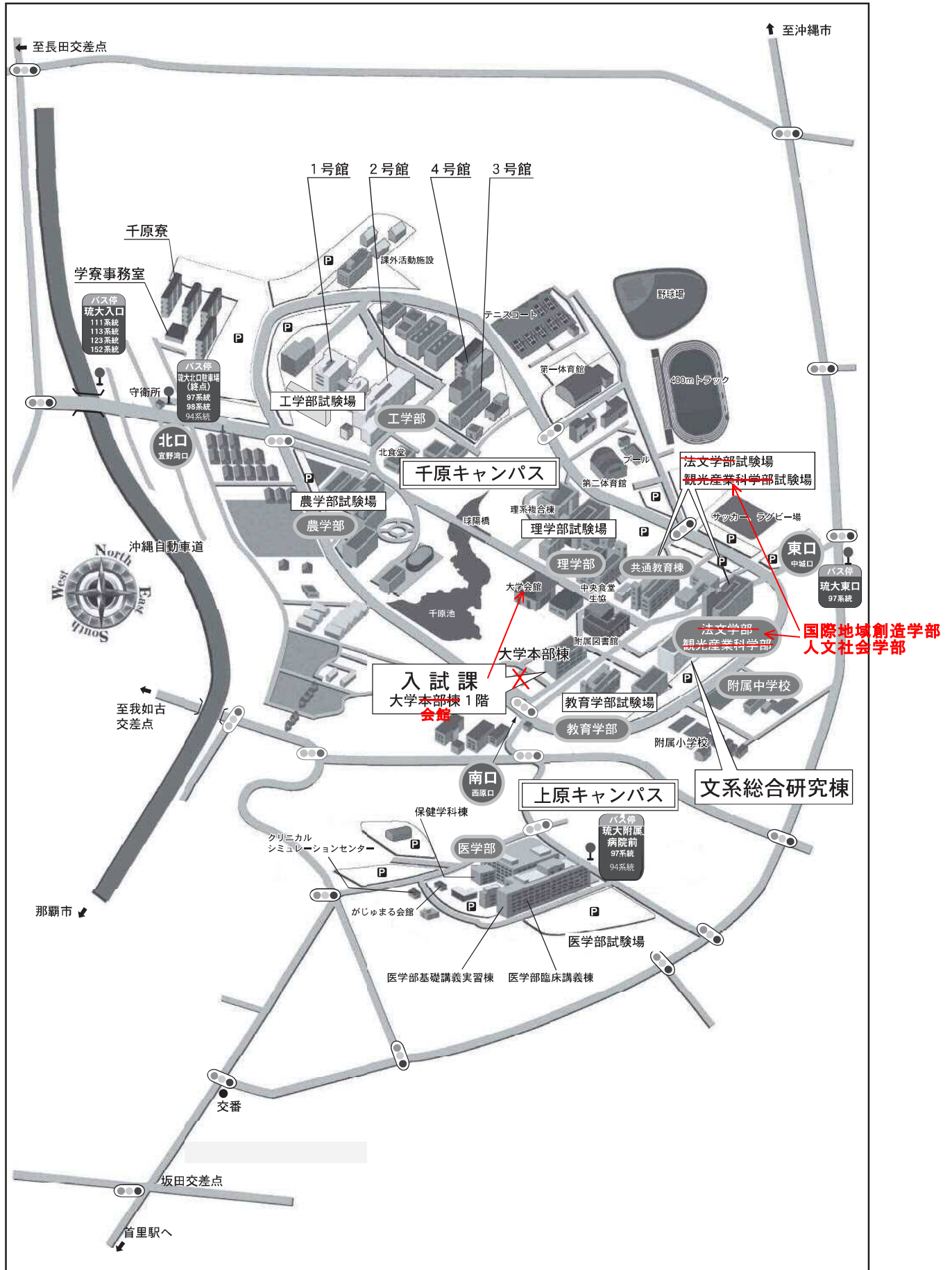


空港からバスで琉球大学へ

空港からモノレールで琉球大学へ



試験場案内図



学生寮（千原寮）への入寮申込み、アパート・マンション等の紹介

○学生寮（千原寮）への入寮申込み

学生寮（千原寮）への入寮を希望する者は、「平成 31 年度琉球大学千原（せんばる）寮入寮者募集案内（新入生用）」（以下「入寮者募集案内」という）を次の要領で請求し、所定の入寮申請期間内に申請書類等を提出してください。詳細については、「入寮者募集案内」をご確認ください。希望者が定員を上回る場合は、学内の規定により選考いたします。

なお、大学近郊に居住する者は原則として対象外ですが、交通やその他の特別な事情がある場合は対象になります。

(1) 「入寮者募集案内（平成 31 年 1 月初旬発行予定）」の請求方法

①学寮事務室（場所は「試験場案内図」を参照）で直接受け取ることができます。

②琉球大学ホームページから入寮願等の用紙をダウンロードして使用できます。

（平成 31 年 1 月初旬にホームページへ掲載予定）

【<http://www.u-ryukyu.ac.jp/> → [学生生活] → [キャンパスライフ（学生寮）】

【<http://www.u-ryukyu.ac.jp/> → [入学希望者の皆様へ] → [キャンパスライフ（学生寮）】

③郵便による場合は、返信用封筒（角形 2 号の封筒に、請求者の郵便番号、住所、氏名を明記し 250 円切手（普通郵便）又は 530 円切手（速達郵便）を貼付したもの）を同封して請求してください。

〈請求先〉

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 59 番地

国立大学法人 琉球大学 千原寮事務室 TEL : 098-895-8133

(2) 入寮申請期間：平成 31 年 2 月上旬予定

※入寮願（申請書）提出締切りは、入学手続期間より前となりますので、ご注意ください。

○アパート・マンション等の紹介

新入生に対するアパート・マンション等の紹介を、琉球大学生生活協同組合において行います。詳細については、平成 31 年 3 月上旬に送付する「入学手続案内」でお知らせします。

<h2 style="margin: 0;">入学志願書（推薦特別選抜用）</h2> <p style="margin: 10px 0 0 0;">貴大学院理工学研究科（博士前期課程）の入学希望につき、所定の書類を添え出願いたします。</p> <p style="margin: 0 0 0 400px;">平成 年 月 日</p> <p style="margin: 0 0 0 100px;">琉球大学長 殿</p> <p style="margin: 0 0 0 450px;">氏名</p>		<p style="text-align: center;">写真添付</p> <p style="text-align: center;">正面向き上半身脱帽 3カ月以内に撮影したもの</p> <p style="text-align: center;">(5×4cm)</p>
選 抜 区 分	推 薦 特 別 選 抜	
志 望 専 攻 名	志 望 分 野 (情報工学専攻は記入不要)	
環境建設工学 ・ 情報工学	第 1	
	第 2	
氏 名	性 別	
(フリガナ)	生 年 月 日	
	昭 和 ・ 平 成 年 月 日 生	
	(満 才) 平成 31 年 4 月 1 日 現 在	
本 籍 地 (外国人の場合は国籍名)	(都道府県のみ記入)	
父 母 (世帯主)	氏 名	
	現 住 所	
本 人 へ の 連 絡 受 信 場 所	〒 — —	
	携 帯 — —	
出 願 資 格	TEL — —	
	平成 年 月	
	大 学 学 部 学 科 卒 業 見 込	

- 備考 (1) 願書記入の際は、募集要項熟読の上記入漏れのないようにすること。
- (2) 履歴事項は、裏面に記入すること。
- (3) 連絡受信場所が変更になった場合には、速やかに連絡すること。

履 歴 書

(推薦特別選抜用)

	年 月 (和暦)	事 項
<p style="text-align: center;">学 歴</p> <p>高等学校入学以降について記入し、見込も記入すること。 なお、外国人留学生は小学校から記入し、大学等での研究生等として在学歴がある場合は、その期間も記入すること。</p>	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
<p style="text-align: center;">職 歴</p>	・	
	・	
	・	
<p style="text-align: center;">賞 罰</p>	・	
	・	

上記のとおり相違ありません。

平成 年 月

氏名

平成31年度

琉球大学大学院理工学研究科（博士前期課程）

受 験 票（推薦特別選抜用）

選抜区分	推薦特別選抜		
※ 受験番号 (記入しないこと)			
フリガナ 氏 名		性 別	
		男・女	
志望専攻及び	志望専攻	志 望 分 野	
志 望 分 野	環境建設工学専攻	第1	
		第2	
注意事項 1. 受験心得 (1) 受験控室には試験開始 30 分前までに入室すること。 (2) 試験開始後 30 分を超えて遅刻した者には、試験を行わない。 (3) 不正行為のあった者は、直ちに退場を命ずる。 (4) 受験に際しては、本票を必ず持参すること。	写 真 添 付 正面向き上半身脱帽 3 カ月以内に撮影した もの (5×4cm)		

推 薦 書

推薦特別選抜：環境建設工学専攻，情報工学専攻

氏 名	
(推薦理由)	
(情報工学専攻) 成績順位	人中／ 位
推 薦 者	平成 年 月 日 推薦者の所属 職名 推薦者の氏名 ⑩

入学確約書

(推薦特別選抜)

平成 年 月 日

琉球大学長 殿

私は、平成 31 年度琉球大学大学院理工学研究科（博士前期課程）推薦特別選抜試験に合格した場合には、貴研究科（博士前期課程）の下記の専攻に入学することを確約いたします。

記

専攻名：

受験番号：

フリガナ
氏名：

印

生年月日： 昭和・平成 年 月 日 生

住所：〒 ー

平成31年度 琉球大学大学院理工学研究科 (博士前期課程)

※ 受験番号
(記入しないこと)

入 学 志 願 書		写真添付 正面向き上半身 脱帽3カ月以内 に撮影したもの (5×4cm)	
貴大学院理工学研究科(博士前期課程)の入学希望につき、所定の書類を添え出願します。 平成 年 月 日 琉球大学長 殿 氏名			
選 抜 区 分 (該当事項を○で囲む)	1. 一般選抜(工学系 口頭試問型) 2. 一般選抜(工学系 筆記型) 3. 1. と 2. の併願 4. 社会人特別選抜 5. 社会人特別選抜 (現職高校教員)		
志 望 専 攻 名		志 望 分 野(情報工学専攻は記入不要)	
専 攻		第 1	
		第 2	
受験科目 (社会人特別選抜は記入不要) 一般選抜(筆記型)は専門科目のみ記入。 ・電気電子工学専攻の(一般選抜・筆記型)は記入不要。 ・情報工学専攻でEMaTスコアを利用するものは該当欄に 選択科目を記入。		専 門 科 目	外国語 情報専攻 EMaT 2科目 選択
氏 名		性 別	生 年 月 日
(フリガナ)		男	昭和・平成 年 月 日生
		女	(満 才) 平成31年 4月 1日現在
本 籍 地 (外国人の場合は国籍名)		(都道府県のみ記入)	
父 母(世帯主)	氏 名	続 柄	
	現住所		
本人への連絡受信場所		TEL - -	
		携帯 - - TEL - -	
出 願 資 格		昭和・平成 年 月	
		大学 学部 学科 〔 卒 業 〕 卒業見込	

- 備考 (1) 願書記入の際は、募集要項を熟読の上、記入漏れのないようにすること。
 (2) 履歴事項は、裏面に記入すること。
 (3) 連絡受信場所が変更になった場合には、速やかに連絡すること。

履 歴 書

	年 月 (和暦)	事 項
学 歴 高等学校入学以降 について記入し、見 込も記入すること。 なお、外国人留学 生は小学校から記入 し、大学等で研究生 等として在学歴があ る場合は、その期間 も記入すること。	•	
	•	
	•	
	•	
	•	
	•	
	•	
	•	
	•	
	•	
	•	
職 歴	•	
	•	
	•	
	•	
賞 罰	•	
	•	

上記のとおり相違ありません。

平成 年 月

氏 名

入 学 志 願 書

（外国人留学生特別選抜）

貴大学大学院理工学研究科（博士前期課程）の入学志願につき、所定の書類を添え出願いたします。

平成 年 月 日

琉球大学長 殿

氏 名

写真貼付

正面向き上半身

脱帽3か月以内

に撮影したもの

（5×4cm）

志望専攻名

受験科目名
（受験科目
を○で囲む
こと）

- 機械システム工学専攻：①材料力学，機械材料及び機械工作法，流体力学，熱力学，制御工学の内から出願時に**1科目選択** ②工業数学 ③面接
- 環境建設工学専攻：①日本語（小論文） ②口述，面接
- 電気電子工学専攻：①物理・数学 ②日本語（小論文） ③口述，面接
- 情報工学専攻：①数学（線形代数学，工業数学，情報数学，確率統計学から出願時に**2科目選択**）
②情報工学（アルゴリズムとデータ構造，オペレーティングシステム，計算機アーキテクチャから出願時に**1科目選択**） ③日本語（小論文） ④口述，面接

氏 名（フリガナ）

性別

生 年 月 日

昭和・平成 年 月 日生

（19 年）（満 才）

平成31年4月1日現在

国 籍

父 母

氏 名

（世帯主）

現住所

〒

TEL

本人への連絡受信場所

〒

TEL

出 願 資 格

（平成・昭和） 年 月

大学

学部

学科

（卒業，卒業見込み）

備考（1）願書記入の際は、募集要項を熟読の上、記入漏れのないようにすること。

（2）履歴事項は、裏面に記入すること。

（3）連絡受信場所が変更になった場合は、速やかに連絡すること。

履 歴 書

	年・月	事 項
<p>学 歴</p> <p>（小学校から記入し、 大学等での研究生等 として在学歴がある 場合は、その期間も 記入すること。見込 みも記入すること。）</p>	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
<p>職 歴</p>	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
<p>賞 罰</p>	・	
	・	

上記のとおり相違ありません。

平成 年 月 日

氏 名

平成31年度

琉球大学大学院理工学研究科 (博士前期課程)

受験票

選抜区分 (該当事項を○で囲む)	1. 一般選抜(工学系口頭試問型) 2. 一般選抜(工学系筆記型) 3. 1. と 2. の併願 4. 社会人特別選抜 5. 社会人特別選抜(現職高校教員) 6. 外国人留学生特別選抜(工学系)		
※受験番号 (記入しないこと)			
フリガナ 氏名			性別
			男・女
志望専攻及び 志望分野	志望専攻名	志望分野 (情報工学専攻は記入不要)	
	専攻	第1	
		第2	
受験科目 (社会人特別選抜は記入不要) 一般選抜(筆記型)は専門科目のみ記入, 一般選抜 (口頭試問型)は記入不要。	専門科目		
	外国語		
注意事項 (1)受験控室には試験開始15分前までに入室すること。 (2)試験開始後30分を超えて遅刻した者には, 試験を行わない。 (3)不正行為のあった者は, 直ちに退場を命ずる。 (4)受験に際しては, 本票を必ず持参すること。	写真添付 正面向き上半身脱帽 3カ月以内に撮影したもの (5×4cm)		

研究計画概要

社会人特別選抜用

氏名		志願理由も含めて以下にまとめること。

社会人特別選拔用

社会人特別選拔用

受 験 承 諾 書

平成 年 月 日

琉球大学大学院理工学研究科長 殿

受験者の職名

フリガナ
氏 名

上記の者が、貴大学院理工学研究科に受験することを承諾します。

氏 名 印

本人との関係

事業所等

現住所 〒

電 話

日本語理解力調査書（外国人留学生：工学系）

志願者氏名 _____ 生年月日 _____

志願者住所 _____

志願者の母国語 _____

次に該当する事項の番号を○印で囲んで下さい。

I 会話力

1. 少しも話せない。
2. 片言程度は話せる。
3. 意志の伝達程度はできる。
4. すらすら話せる。

III 読解力

1. 全く解らない。
2. おぼろげながら解る。
3. どうやら解る。
4. はっきり解る。

II 作文力

1. 全く書けない。
2. 単語を並べる程度は書ける。
3. やさしい文章は書ける。
4. 十分書ける。

IV 総合的にみて大学の講義を受けるのに、

1. 受講する力が全くない。
2. 漠然と解る程度である。
3. どうにか受講する力がある。
4. 受講する力が十分ある。

V その他ご意見がありましたらご記入下さい。

以上のとおり調査報告致します。

平成 年 月 日

調査人勤務先 _____ TEL. _____

調査人職名 _____

調査人氏名 _____ 印または署名

注：この調査書は、高等学校又は大学において日本語を教授している者、政府又は公共団体の責任ある職員にあつて日本語を十分理解できる者、又は各国在日本大使館職員によるものでなければならない。

平成31年度

琉球大学大学院理工学研究科(博士前期課程)

入学試験出願資格事前審査申請書

琉球大学大学院理工学研究科(博士前期課程)の入学資格事前審査を受けたいので、下記のとおり申請します。

※出願資格該当事項を○で囲んでください。

出願資格		(1)－⑧	(1)－⑩
氏名	印	現職	
生年月日(年齢)		現住所	
志望専攻	志望分野	希望指導教員	
学歴(高校卒業時から記入すること。)			
年 月 日	事 項		
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
職 歴			
年 月 日	事 項		
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
研究・教育歴(研究・教育歴証明書を添付すること。)			
年 月 日	事 項		

琉球大学大学院理工学研究科

※受験番号：
(大学院理工学研究科入試用)

検定料免除申請書

平成 年 月 日

国立大学法人
琉球大学長 殿

(請求者)

出願専攻名

フリガナ

志願者氏名

印

住 所 〒 —

電 話 — —

平成23年3月11日に発生した東日本大震災又は平成28年4月14日に発生した熊本地震において、下記のとおり被災しましたので、被災証明書等を添付の上、検定料の免除を申請します。

記

被災状況（該当箇所をチェックしてください。）

- 全壊 大規模半壊 半壊 流出
学費負担者死亡又は行方不明
福島第一原子力発電所事故による避難区域等

返還金払戻請求書

国立大学法人
琉球大学長 殿

請求者

〒

住 所

フリガナ

氏 名

印

電話番号

私が平成 年 月 日に納付した検定料 円について、以下の理由により払戻を請求します。

1. 誤納
2. 出願辞退（受験辞退ではなく、出願しなかった方が対象です。）
3. 書類不備等による出願書類の不受理
4. 東日本大震災において被災
5. 熊本地震において被災
6. その他（ ）

次の銀行口座へ振込んでください。

フリガナ			保護者名義の 場合の続柄
口座名義			
取引金融機関名 本・支店名	銀行	支店	
預金種別	1 普通	2 当座	
口座番号	(店 番)	-	(口座番号)

預金種別欄は、該当項目番号を○で囲んでください。

[注意]

- ※ 請求者は志願者本人としてください。
- ※ 保護者等、請求者以外の口座名義を指定する場合は、続柄も記入してください。
- ※ ゆうちょ銀行口座へ振込を受ける場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が必要です。振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が分からない場合は口座を開設したゆうちょ銀行へご確認ください。
- ※ 封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。
- ※ 返還には請求書受理後2～3ヶ月程度かかります。

送付先 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学財務部経理課収入・支出係
TEL:098-895-8058取扱金融機関収納印が押印された
検定料納付証明書(大学用)
をこの枠内に貼り付けのうえ、ご提出
ください。※払戻理由のうち、4. 東日本大震災
又は5. 熊本地震において被災
を選択された場合は貼り付け不
要です。※各金融機関備付の振込依頼書で
振込んだ場合は、受領書をご同
封ください。

記入上の注意

- 「検定料振込書」の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。《依頼日、入学志願者氏名（フリガナ）、住所、電話番号、振込先（枠内に○印）
- 必ず金融機関（銀行等）の窓口で振込み、ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。
- 振込手数料については、志願者本人負担となります。
- 金融機関窓口から「検定料納付証明書（大学用）」を受け取る際は、取扱金融機関収納印を確認してください。
- 「検定料納付証明書（大学用）」は出願書類に同封して提出してください。

検 定 料 振 込 書

(振込前に志願者で切離し)

検定料納付証明書（大学用）

★出願書類に同封して提出ください。

※依頼日		年 月 日	
金額		¥30,000-	
※振込先 行い に○ れか すの 銀	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711	
	沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366	
	沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358	
	みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859	
※募集 区分 (フリガナ)	451		
※依頼 者人 氏名			
平成31年度 琉球大学 検定料 理工学研究科（工） 博士前期課程			

(大学提出時に切離し)

振込金（兼手数料）領収書		手 数 料	
※依頼日		年 月 日	
振 込 金 額		¥ 3 0 0 0 0	
※振込先 行い に○ れか すの 銀	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711	
	沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366	
	沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358	
	みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859	
受取人 口座名		国立大学法人 琉球大学	
※依頼 者人 (フリガナ)			
※依頼 者人 氏名			
平成31年度 琉球大学 検定料 理工学研究科（工） 博士前期課程			

上記のとおり領収しました。

(振込時金融機関で切離し)

振 込 依 頼 書

電信扱

※依頼日		年 月 日		振込 指定	電信扱	手数料	勘定科目				
※振込先 行い に○ れか すの 銀	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711		金額	¥ 3 0 0 0 0						
	沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366		内 訳	現金						
	沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358									
	みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859									
口座取 名人	コカクダガ イグクホクシン リユウキョウダガ イグク 国立大学法人 琉球大学										
(※依 頼 者人)	※募集 区分	451	※ フリガナ								
	※氏名										
備 考	※(住所)										
	(電話番号)										
平成31年度 琉球大学 検定料 理工学研究科（工） 博士前期課程											
【納入期間】 推薦選抜・一般選抜口頭試問型 平成30年 6月13日(水)～6月21日(木) 一般選抜筆記型（第1期） 平成30年 7月18日(水)～7月26日(木) 一般選抜筆記型（第2期） 平成30年12月20日(木)～平成31年1月11日(金) 社会人(現職高校教員)・外国人留学生 同上											

取扱店へのお願
い
○太枠内を打電してください。
○募集区分、フリガナの順に打電してください。

取扱金融
機関
収納印

取扱金融
機関
収納印

取扱金融
機関
収納印

(取扱店→振込人→大学)

(取扱店→振込人)

(取扱店用)

志願者整理票

※ 印欄は記入しないこと。

琉球大学大学院理工学研究科 (博士前期課程)

受験番号 (記入しないこと)	(フリガナ)	性別	男・女	出身大学・学部	志望講座名
	氏名	出身大学所在 都道府県名		学 科	
※		男・女			

(注1) 出身大学が外国の場合は、「出身大学所在都道府県名」の欄に国名を記入すること。

(注2) この整理票は、シールになっているので、はがれないように取り扱うこと。

合格通知書送付先 (団地・棟・号や下宿先等を必ず記入すること。)

住所 (〒)

氏名 殿

(※受験番号)

入学手続書類送付先 (団地・棟・号や下宿先等を必ず記入すること。)

住所 (〒)

氏名 殿

(※受験番号)